

おやおや

偶然にもキミが私の下着に顔をうずめている写真が撮れてしまったわけだが…。

さて、

少し時間をもらえるかな？

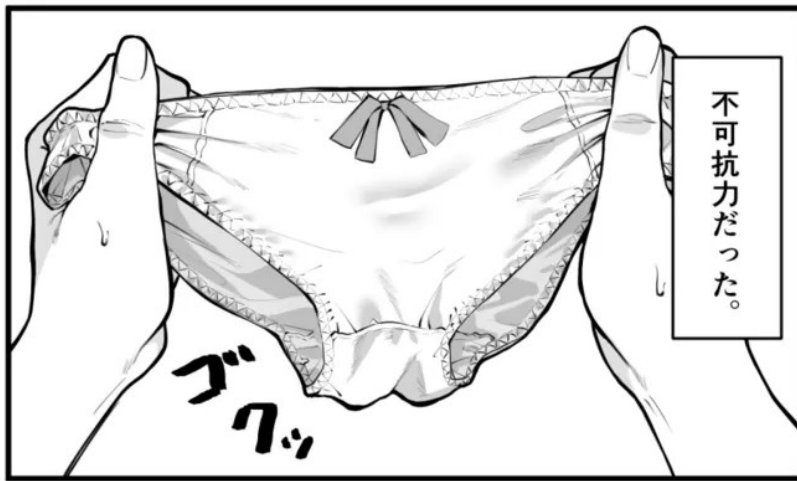


どうだい？

これで射精できそうかい？

ほら、早く出すところを見せたまえ。

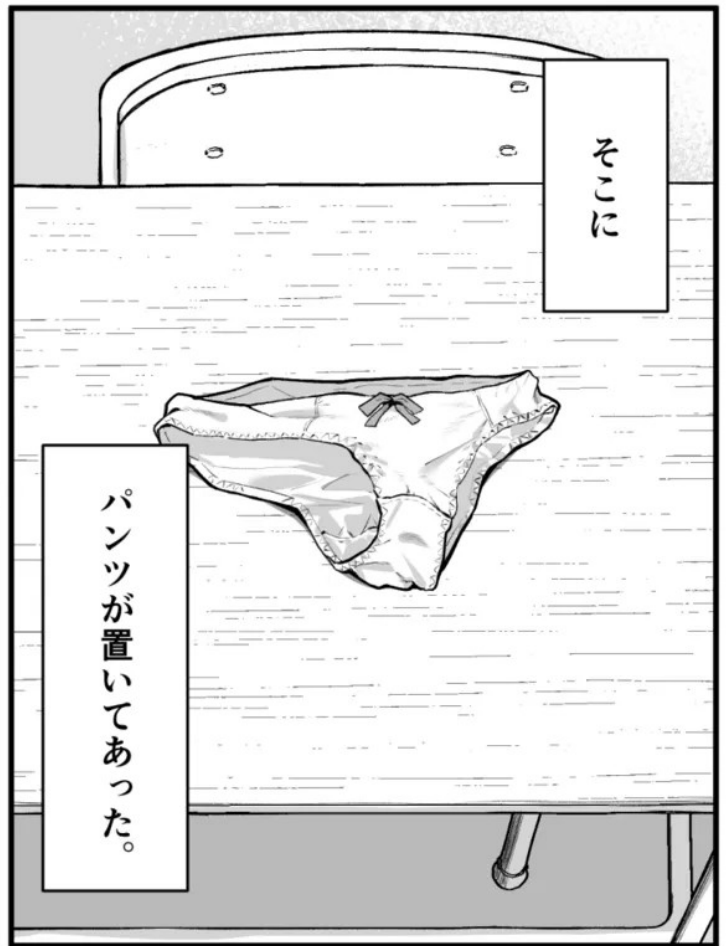
なぜかクラスの優等生のパンツを見ながら、オ○ニーすることになった話。



不可抗力だった。



責められることではないと思う。



そこに

パンツが置いてあった。



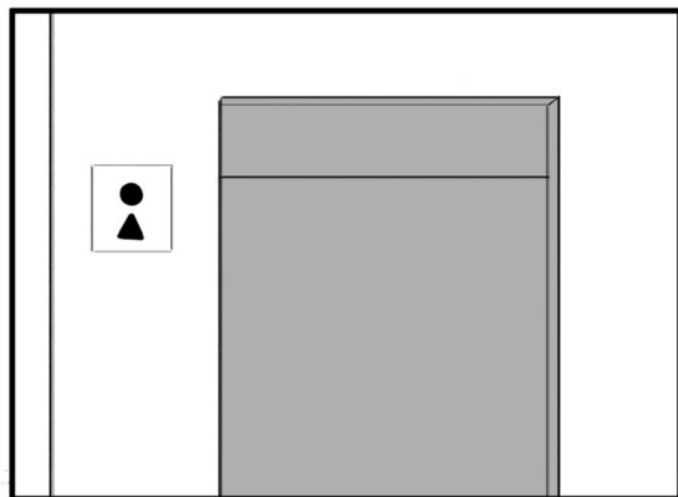
や。

面白いモノが撮れてしまったよ。

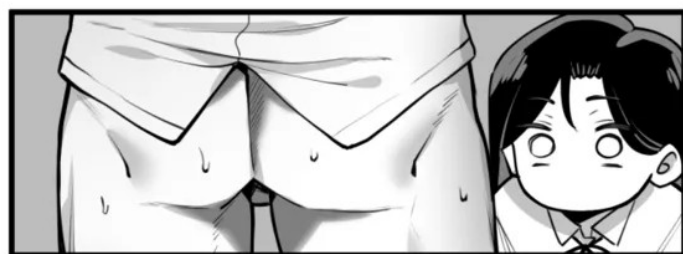
人生が終わる音が聞こえた。



え...?







こ、これは今

「勃っている」

状態なのか!?

いいや、まあ、
半勃ちくらい?

「半勃ち」?

50%ということか。

じゃあ、100%も

見せてくれ!!

遠慮することはない。

ちよ、ちよっ!!

はて?

オレもこんな状況で
混乱してるっつか

そ、そう言われても!!

そもそも、こういうのには
「オカズ」が必要で...

「オカズ」?

この可愛い
お顔だけじゃ不足かい?

ぐっ…!!正直、委員長の
顔だけでも充分イケるが

きゅるん

「きゅるん」やめて?

ここでそれを認めるのは
悔しい。

むっ、だめか。

というか、情けない!!
あまりにも!!

じゃあ、

これならどうかな?

キゅッ

!!

勃起そうかい？

い、委員長の

生パンツ…!!

おお、大きくなった!!

↓キッ

↓キッ

↓キッ



それなり？

それなりどころじゃない。

いつも凛とした優等生

皆からの信頼も厚い
人気者。

そんな委員長が
パンツ丸出しで股を開いている。

おやおや

もうパンツしか
見ていないなキミ。

はぁ

はぁ

うん

うん

これ以上のモノなんて
無いだろう。

シクシク

委員長の…

こういうのが好きなんだろう？

男の子は。

手の動きが早くなったね。

ま〇毛…!!

はぁっ

はぁっ はぁっ

はぁっ シュ

シュ

はぁっ

シュ

はぁっ



毛
毛

毛

お!!

お!!

びゅ
る
る
る
る
る

おお!!

びゅ
る
る

びゅ
る
る

お!!
お!!
お!!



おっと。



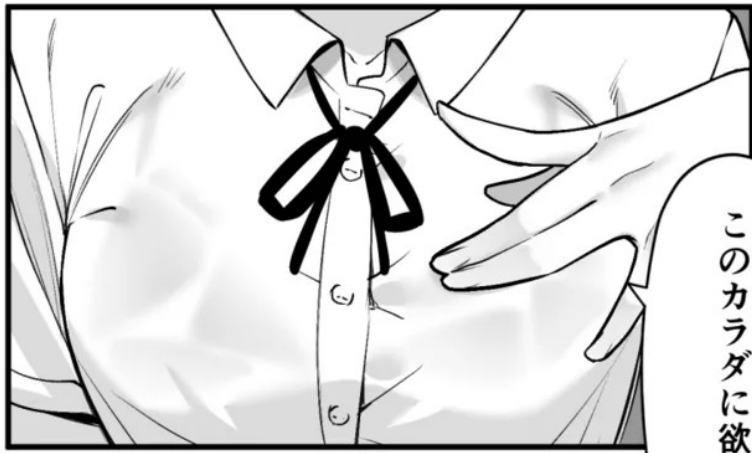
…出し切ったかい？



ごごめん。
委員長…。

なに、
気にすることはないよ。





このカラダに欲情し



それよりも



じゅっ

精子を掃き出す
キミの姿…



かなりそそられるものがあつたよ。



クセになりそうだ♡

イヤっ♡



コ、コイツ…

異常者!!

またよろしく頼むよ。

ちなみに、キミに
拒否権は無いのであしからず。

ふいっ

こんなやばい奴だったのか…。

それは銭別だ。

ホイ

汚れてしまったからね。

好きに使ってくれ。

じゃあ、また。

中山くん。

こうして、彼女と俺の
奇妙な関係が始まった。

いや、だから、
田中だって…。

北桜 茜 (きたざくら あかね)

- 容姿端麗、成績優秀、皆からの信頼も厚いクラス委員長。
- 実は性への探求心も人一倍で、日々妄想に明け暮れている。

- 厳格な家庭で育っており、多くの娯楽が制限されている。
- スマホは所持しているが、フィルターが掛かっているため一番見たいもの(えっちコンテンツ)は一切見れない。
- 漫画も禁止されているが、小説に関しては検閲が緩いため、最近はおっぱい官能小説で欲望を発散させている。

- 官能小説だけでは満足できなくなった頃、観察に観察を重ね、田中という獲物を見つけ出した。まんまと罠にはめた後は、これまで溜めに溜めた性への好奇心を思い切りぶつけられそうだとワクワクしている。
- オナニーの回数も増えた。

- 田中のことは、最初は都合の良い存在くらいにしか思っていなかったが、からかうとイイ反応をするのでそれがなかなか気に入っていたりする。

- 自信の容姿が優れていることに自覚があるタイプ。
- 胸はそこまで大きくはないが、本人曰く「形はイイ」。

「キミは、週に何回オナニーするんだい？ 答えたまえ。ほら、早く。」

「フフッ。キミ、結構可愛いらしいところがあるんだね。」



キミのソレは、
大きい方なのかい？
小さいのかい？



嘘をつく必要はないよ？

また見てたな？

えっち♪



田中 凪人 (たなか なぎと)

- ムッツリスケベ。
- 北桜にそのスケベ心を見透かされ弱みを握られてしまった可哀そうな人間(自業自得でもある。)

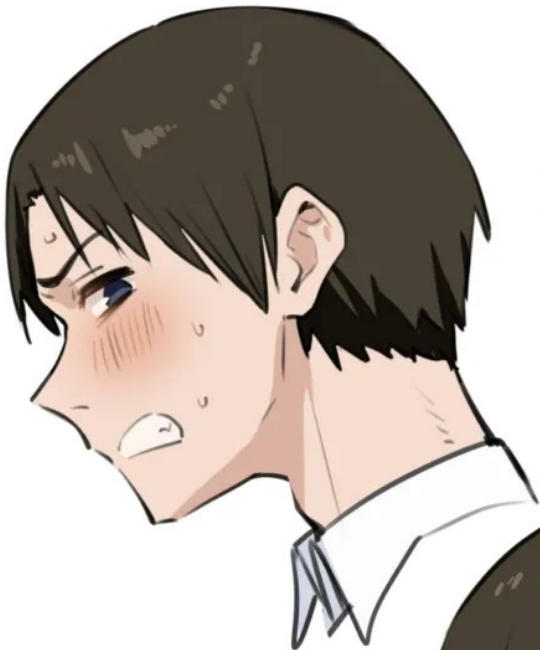
- 品行方正な真面目な人間だと思っていた北桜の奇行に心底ビビリながらも、内心かなりおいしいとも思っているので、win-winな関係なのである。

- 北桜からもらった下着は、洗わずに大切に使っている。

「だから、田中だって…。わざとだろ。」
「ど、どどど、童貞じゃねーし!!!」

くそっ…!!
かわいい。

(あ、おっぱい見えそう。)





遠慮せず見たまえ。



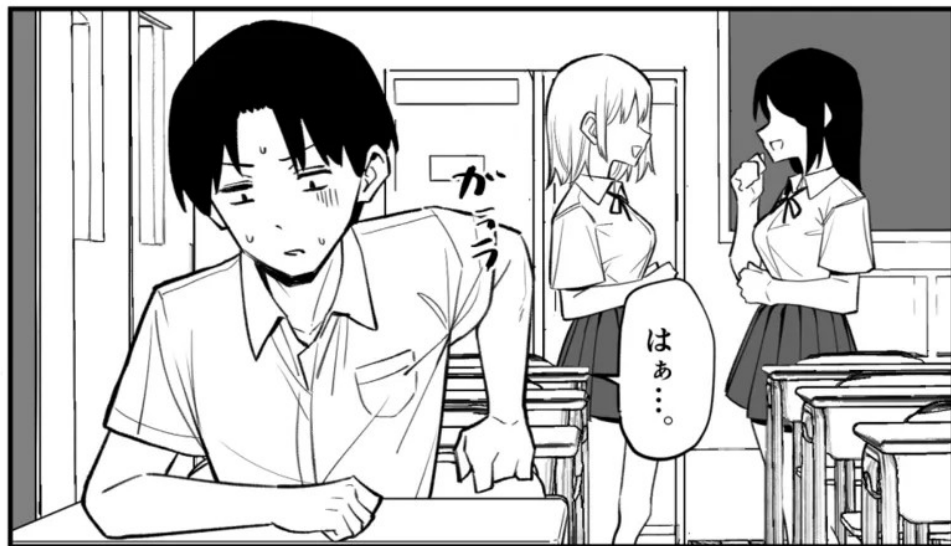
どうかな？
田中くん♡♡

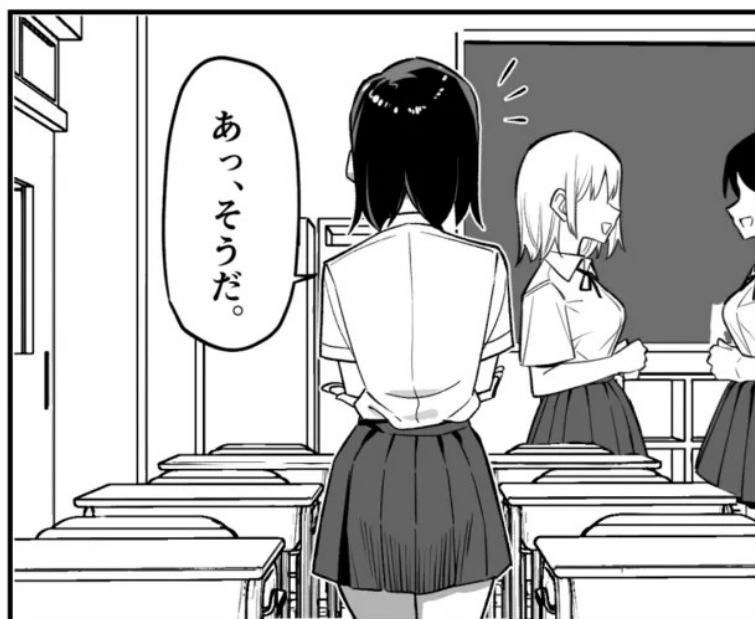
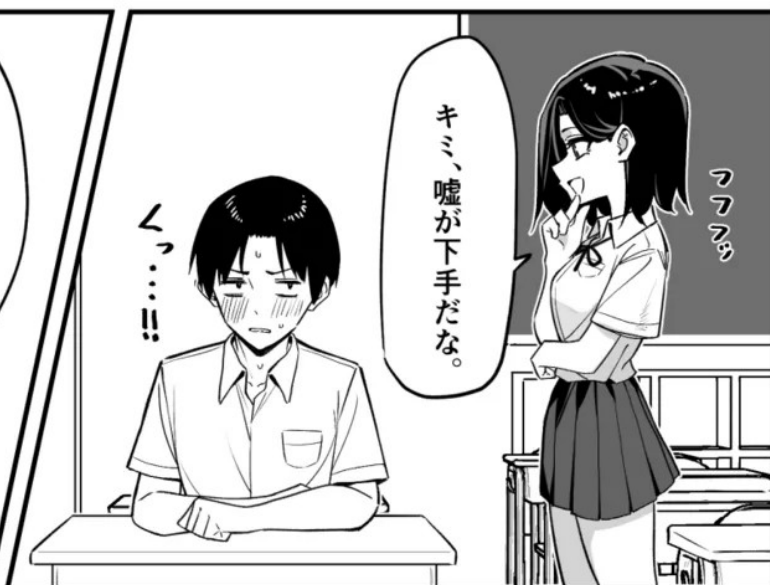
出せそう？



妄想オナニーが
捗る田中くん。

くそ!!
こんなの止まんねえよ...









ほら、

キミの大好きな
おパンツだよ？

はま
はあ

キミ、
やたらと毛を見たがるね。

オナニーを見せるという
奇妙な生活が続いている。

あれからというもの、

委員長に呼び出されては

ぐい

委員長

なんだい？
太田くん。

おや？

いつもの「田中だよ!!」の
ツッコミはないのかな？

お前、
やっぱりわざとじゃん。

毎回
スカートだけ脱ぐ

俺、今日もお前の
パンツ見ながら

シコんの？

それで、

何か不満でも？

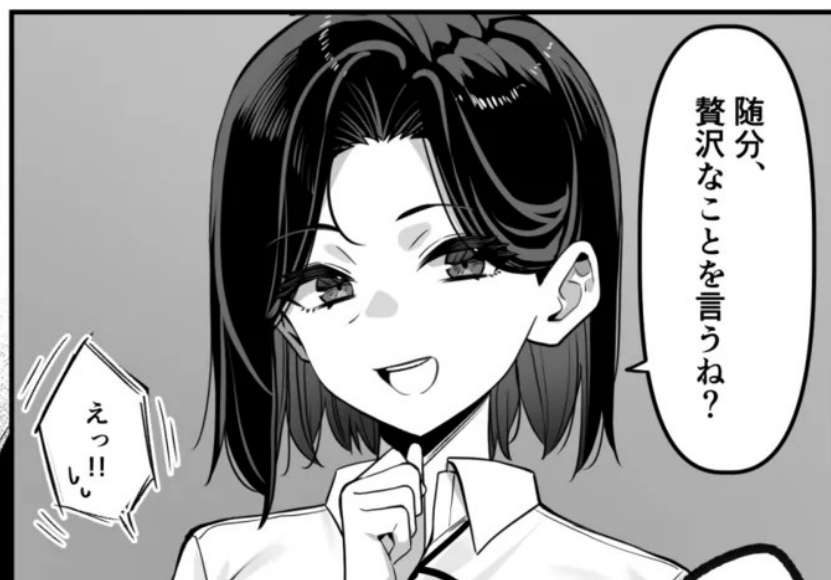
いや
いや

嘘だ。

パンツだけで十分
イケる。

無理があるというか…。

さ、流石にもう
パンツだけでシコるのは



やばい!!
調子に乗ったか?

ち、違うんだ!!

ただ、

一理ある。

!!

「非日常は非日常であるがゆえに、
エロスたり得る。」ということか。
確かにそれはあるかもしれない。

人間は慣れる
生き物だからね。

キュッ

…え?

よく分からんけど、
納得してくれた。

私も丁度、違う反応が
見たいと思っていたところだし、
新しい試みも面白いかもしれない。

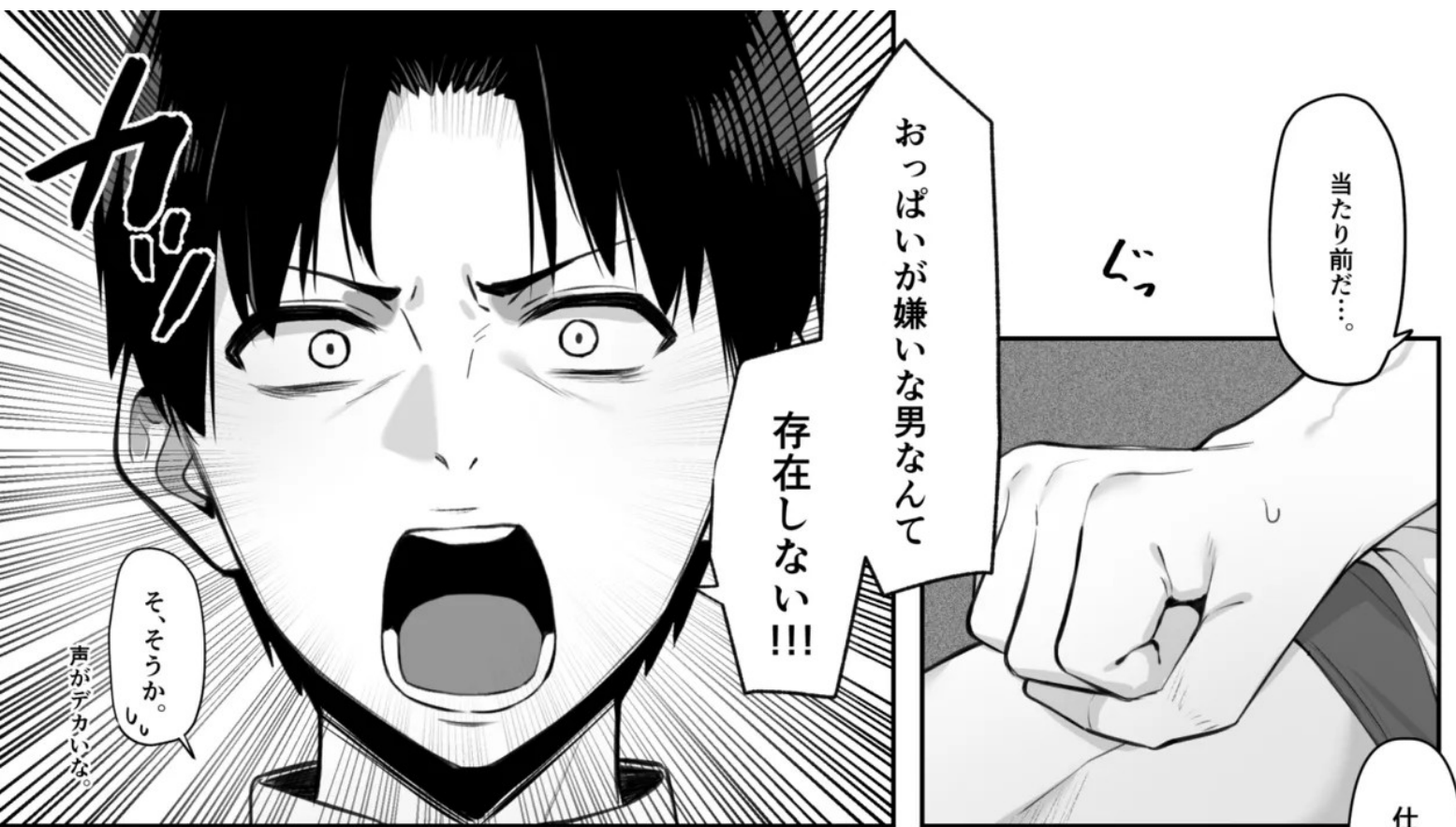
それで、
具体的にどうしろと?

そ、それは…

やっぱり胸か?

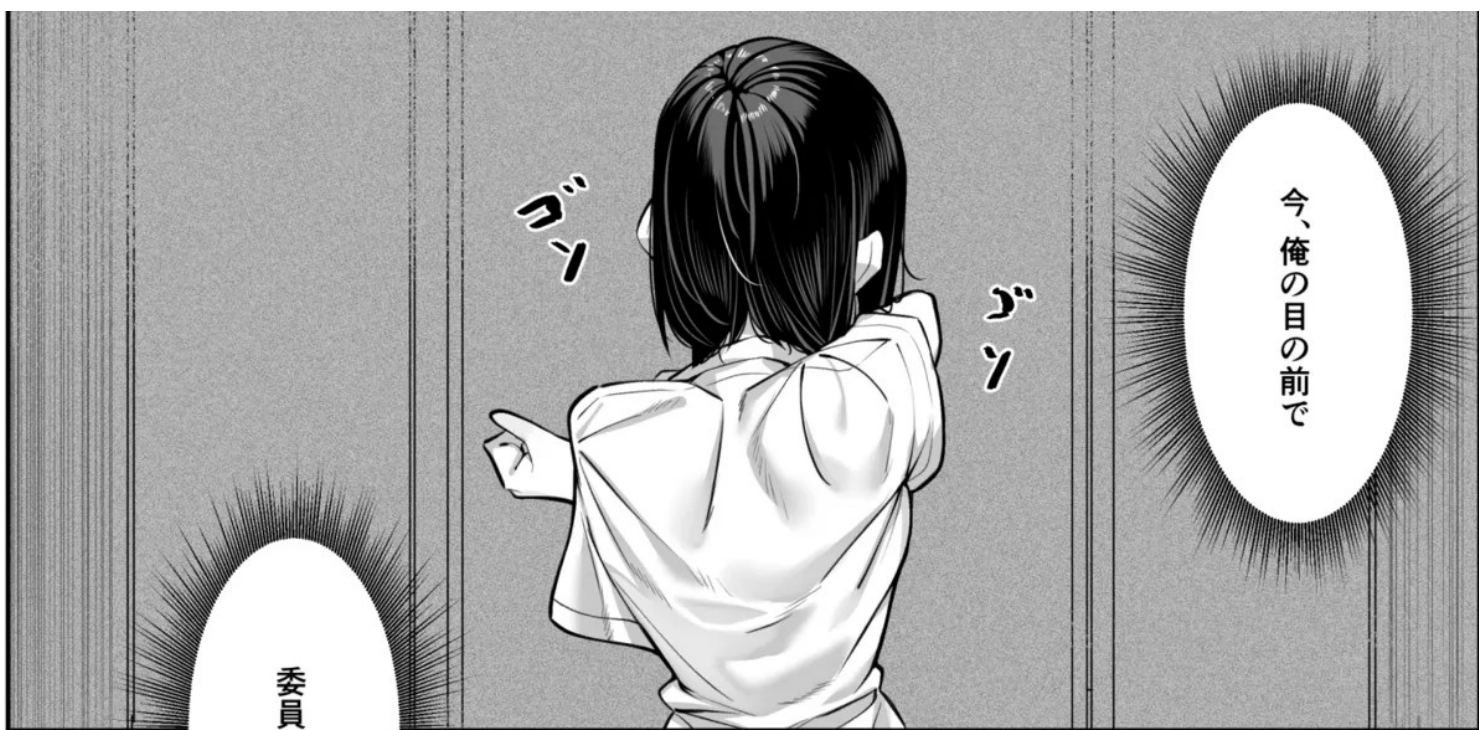
そんなに好きかい?
この脂肪の塊が。

い
い
…









今、俺の目の前で

委員長が



ブラジャーを…。



ヒッ
ゴッ



脱いだよ？

美少女のノーブラ
おっぱいだぞ？



ほらほら。

この揺れを見たまえ。

グー
グー
グー

ふ
ふ
ふ

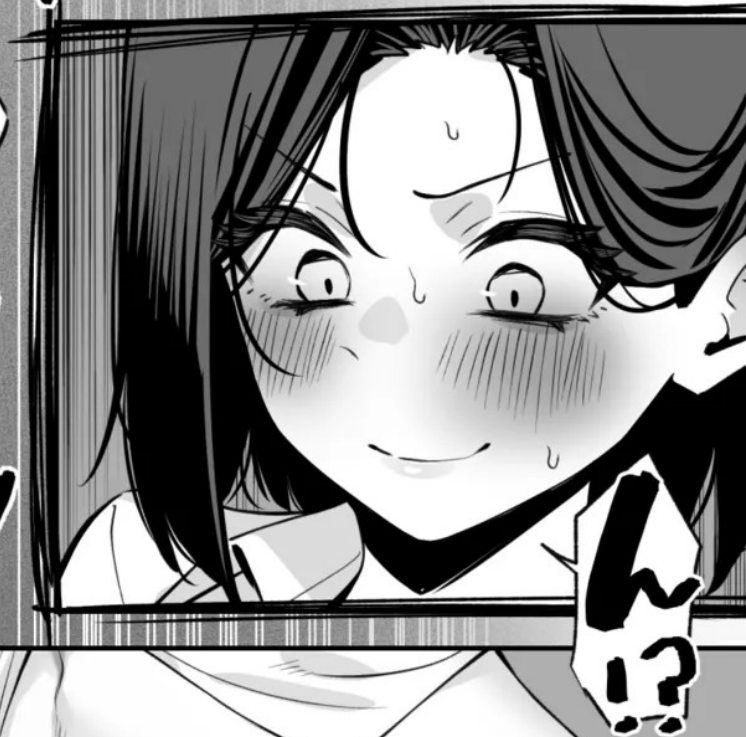
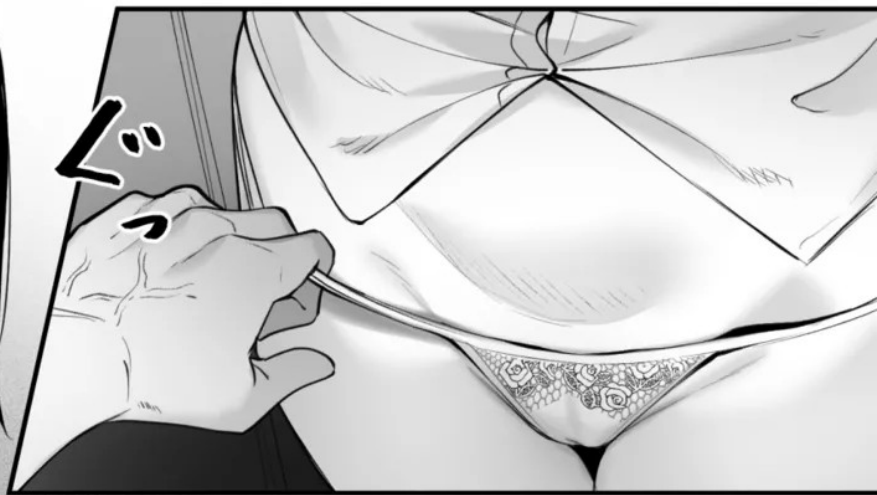
ふ
ふ
ふ











お、おい!!
勝手に…



お、

お、

毛

お、おい。

おっぱい

そ、そんなに擦って
大丈夫なのかい？

ま○毛!!

おっぱい!!

出る!!
出る!!

出る!!

ちゅ
ちゅ
ちゅ
ちゅ
ちゅ



お

ど
びゅ

あ
あ

びゅ
る

びゅ
る

びゅ
る
る
る
る

びゅ
る

ど

あー

びゅ
る

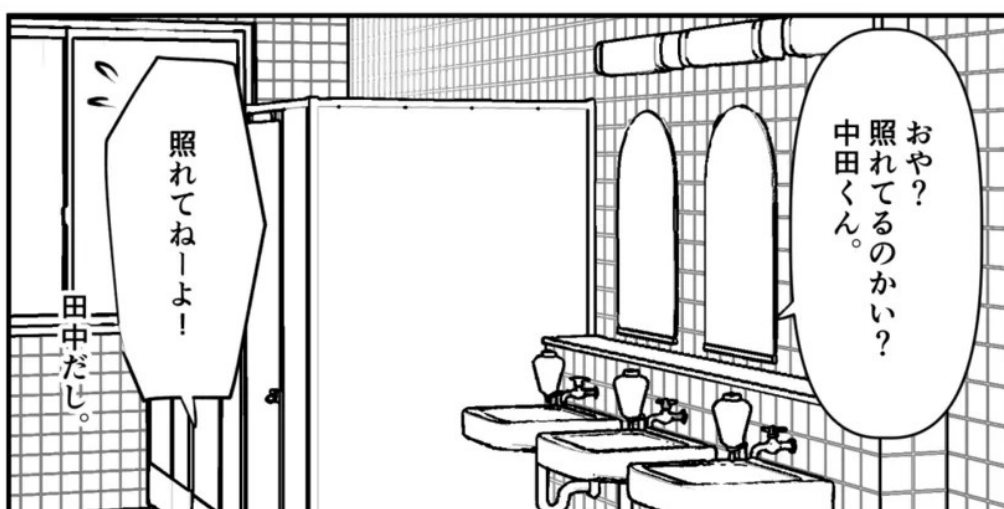
びゅ
る

ど

びゅ
る











キミのスケベさだけに



私はなにも



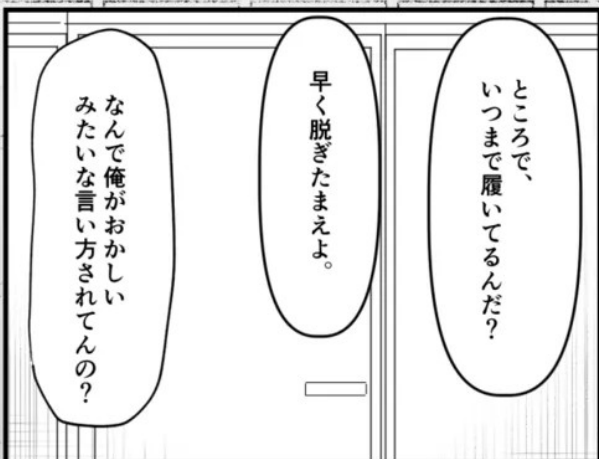
目を付けたわけではない
ということさ。



なんだそりゃ。

フマヤ

人を見る目には
自信があるんだ。



ところで、
いつまで履いてるんだ？

早く脱ぎたまえよ。

なんで俺がおかしい
みたいな言い方されてんの？

勉強集中したいから、
部屋には入らないでね。

分かってるわよ。
頑張ってるね。

夕ご飯もあとで食べるよ。

あらそう？

自宅では普通の
しゃべり方。

フフ、
そんなに大きくして…

ポンポン

私のカラダで…
変態め。

ポンポン

自宅で思い出し妄想
オナニーが捗る茜ちゃん。

しゅっ
しゅっ
しゅっ
しゅっ

あつ、だめだよそこは…
(小声)

ボンッ

そんなにしたら…

ボン

たな…

ん…





あっ…

はっ…



ふう…



そろそろ解像度が
下がってきたな。

また呼び出すとするか。

一つづー

冬服

ホロタイプ？



どうせ童貞だろ？キミ。

別に誤魔化す必要はないよ。

私だって処女だしね。



勉強を見てあげている
あかね

や、やかましい。

おや？
照れているのかな？





いい表情をするね。
キミは。

私にお○んちゃんが付いていたら、

バキバキに勃起しているところだよ？

キミが女で私が男だったら、

私はキミを押し倒していた
かもしれないね。

感謝したまえよ？

私が女であることに。

なに言ってるの？



いつの間にか一緒に帰宅する
流れが出来上がりつつある二人。

なにかを得意げに
説明するあかね



むー？

お出かけの服装に悩む
あかね



どういのが
好きか聞いとけばよかったな。





相変わらず
呆れた性欲だね。

キミは。

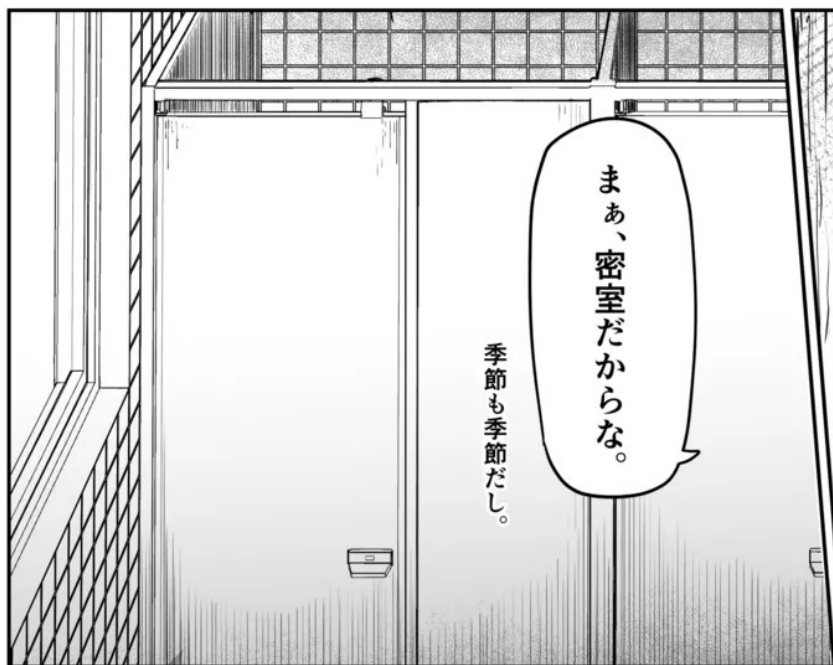
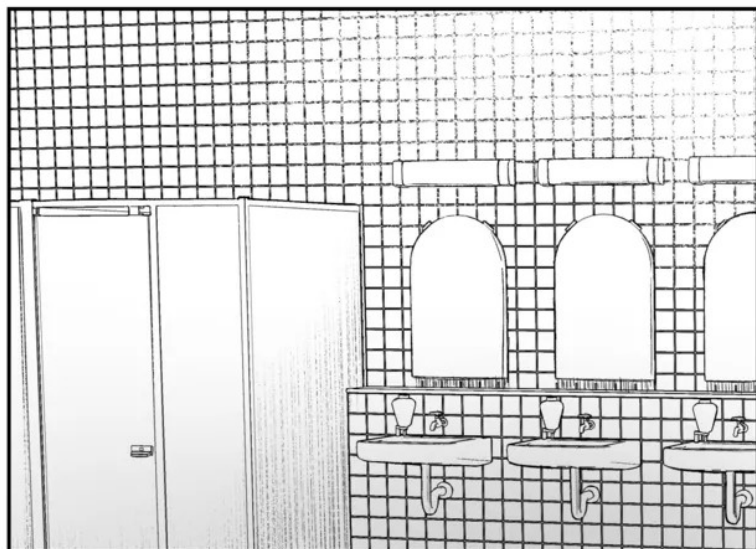
むわっ

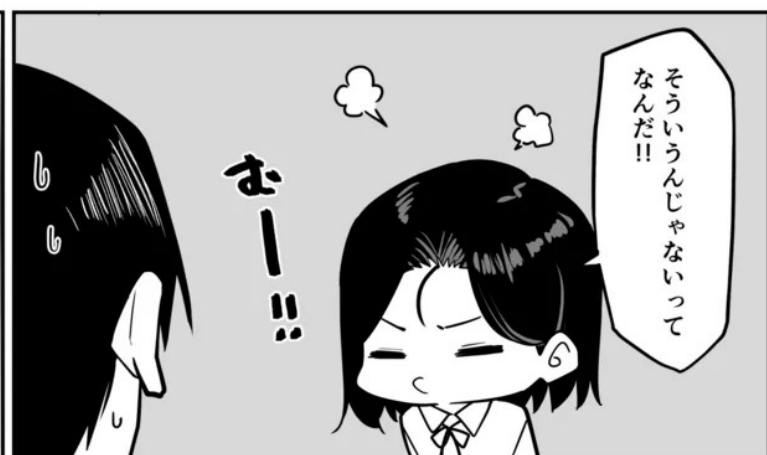


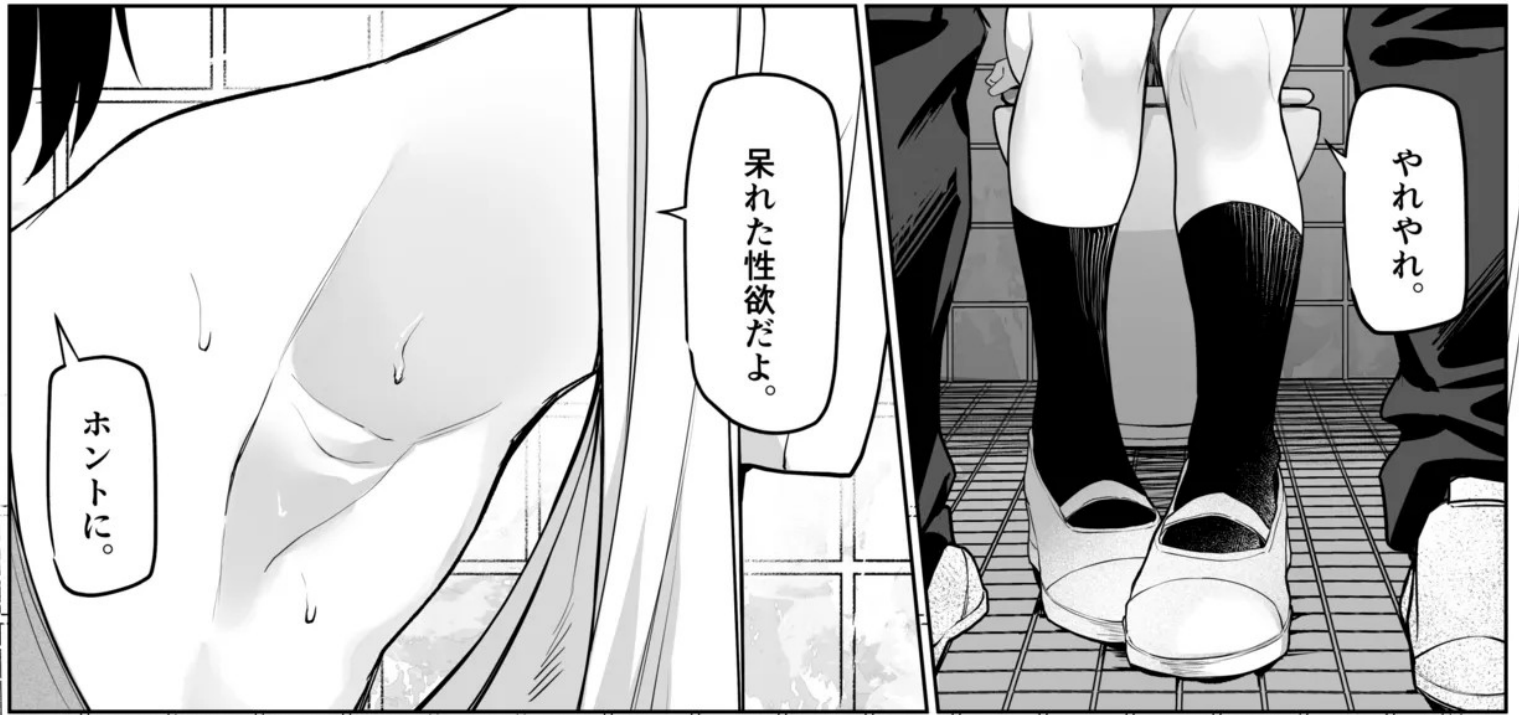
脇は
えっちなものでは

ないんだよ？

クラスの優等生の脇で
オ○ニーする話





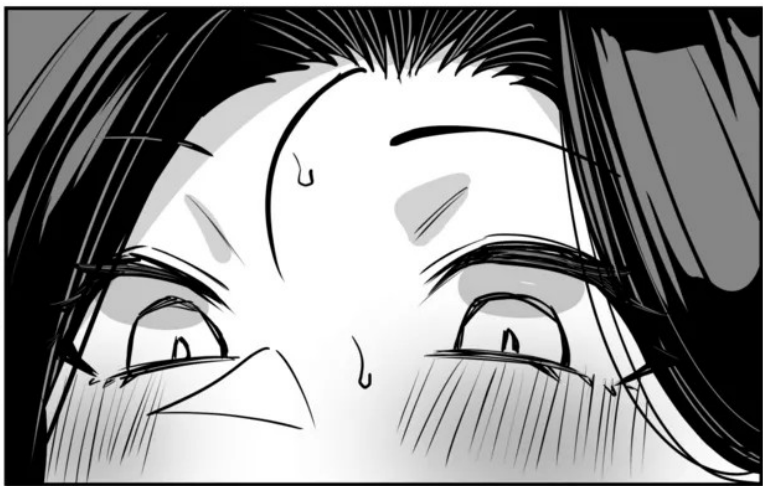


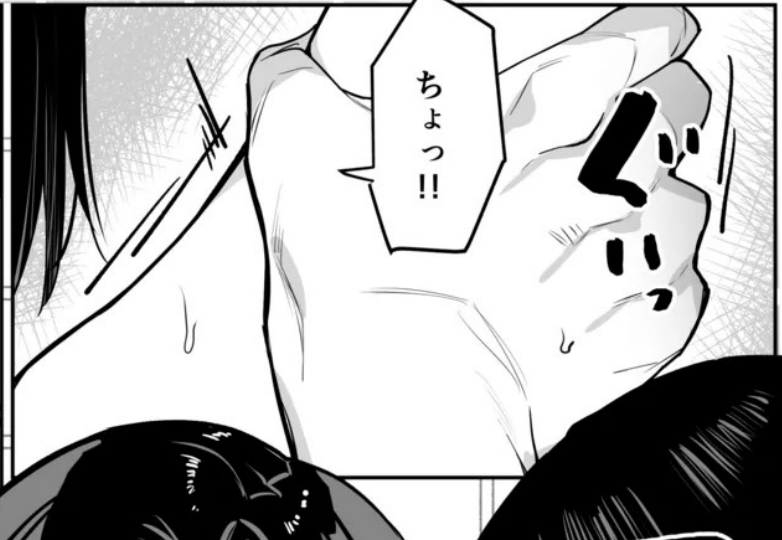
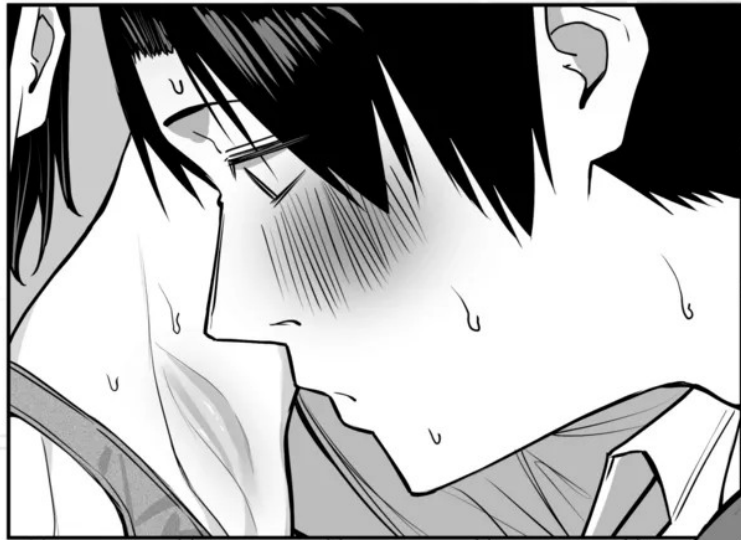
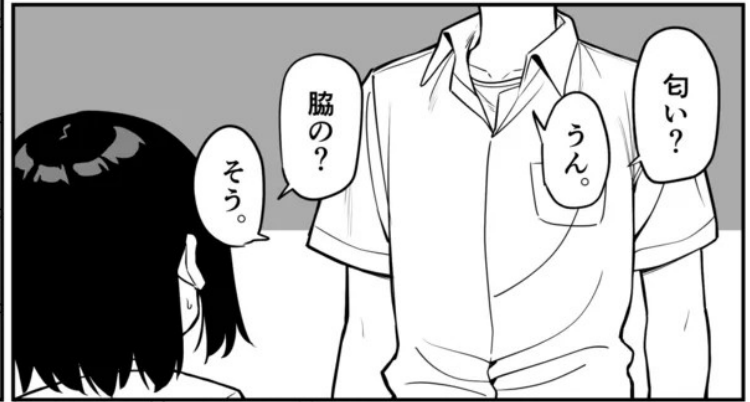
キミは知らないかも
しれないから、

教えてあげるけれど、

脇は性器ではないよ？

ぐにゅ







臭い。ふつうに。



…このお猿さんは

デリカシーという言葉
を知らないようだね。



ま、まあ、
私のような美少女は

常にフローラルな香りを
纏っているものだからね。

キミの望んでいるモノとは
少し違うだろうけれど…



興奮する。



散々授業で体を動かしたあとのだから、
多少匂うのは当然であって、(早口)

私が特別くさいとかではないのだから、
勘違いするんじゃないよう？そもそも



臭くて



汗のにおいと

女子の匂いが混ざって

顔が近い...

めちやくちや

エロい匂いにする。



当たり前のように
他人の下着を脱がす
ようになったね。キミ。

ズル



おい。

い
い



は

は

は

は



ち
う



あー、やばい。

出そう。

スー

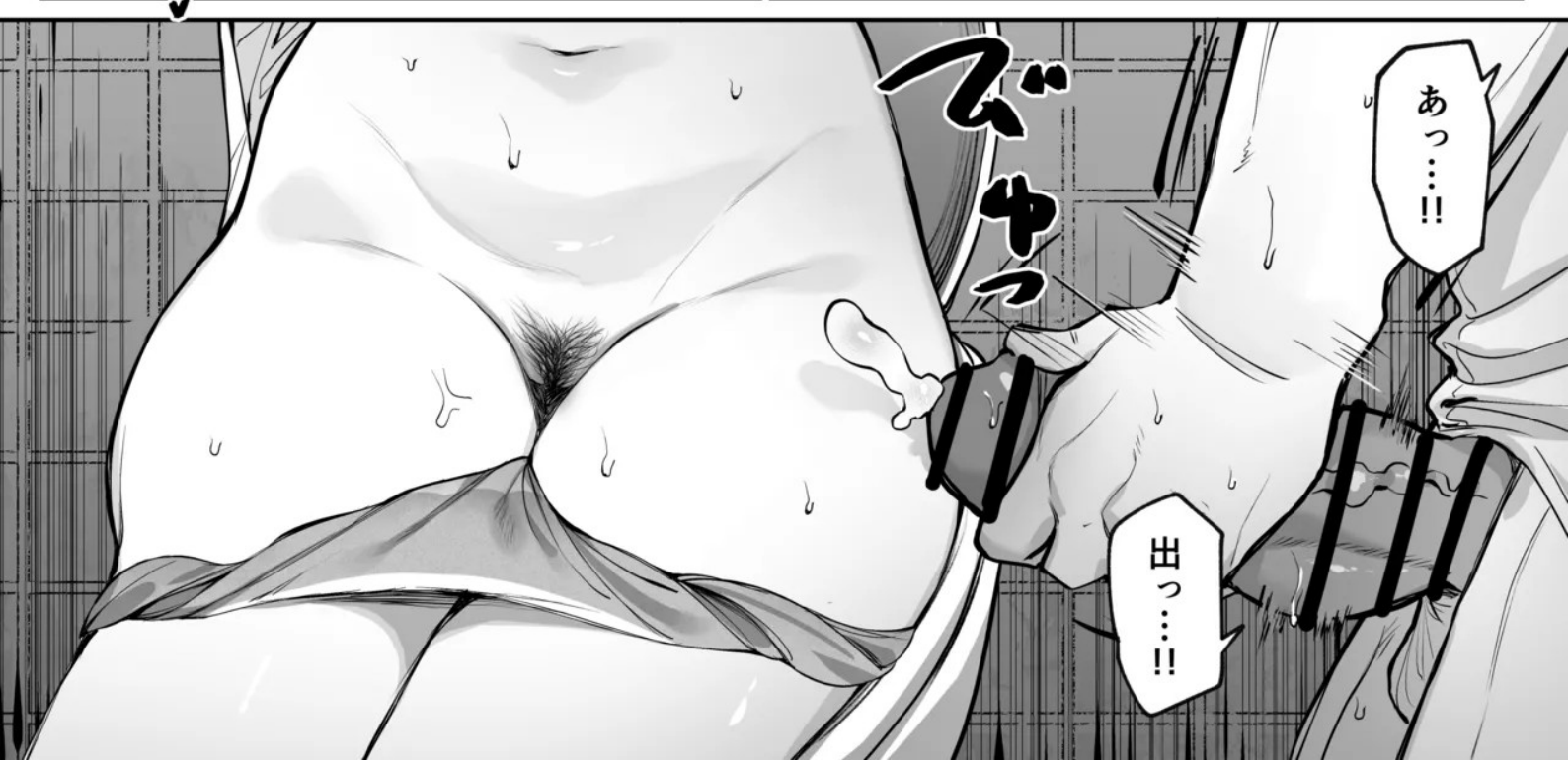
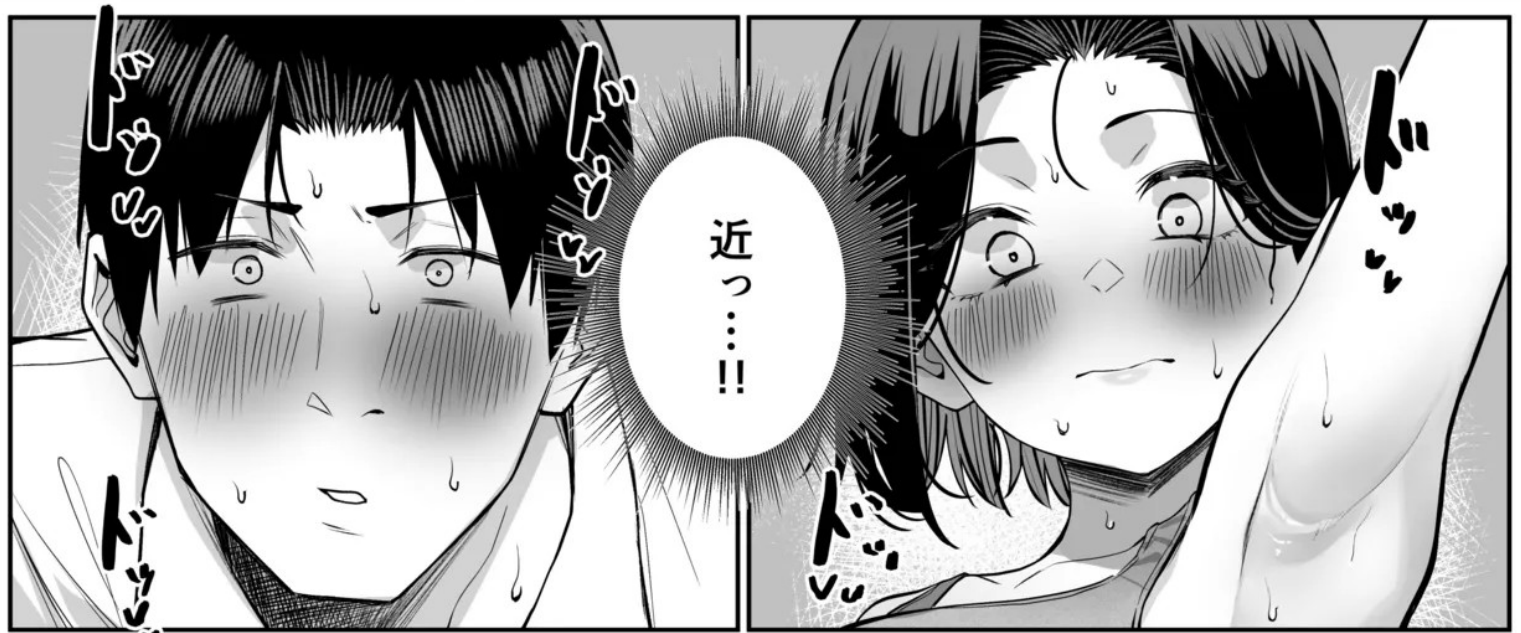
ハ

ズ

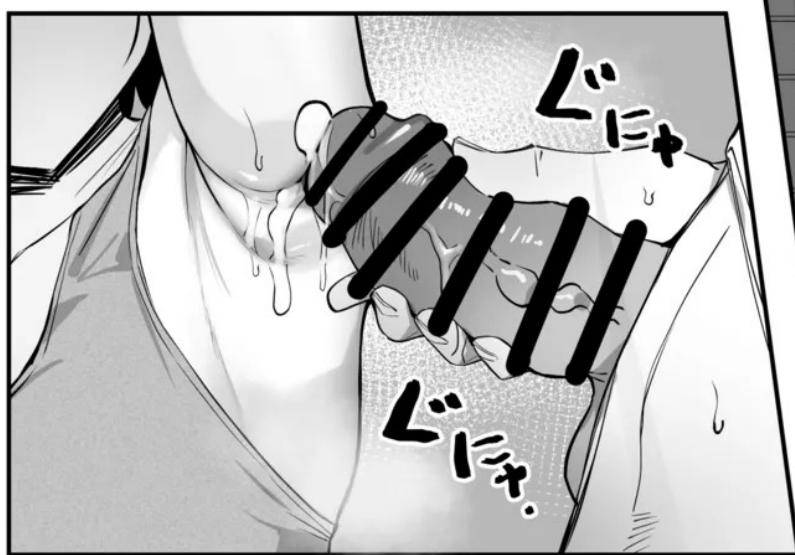
ト

ちや
ちや
ちや
ちや

ちや
ちや
ちや

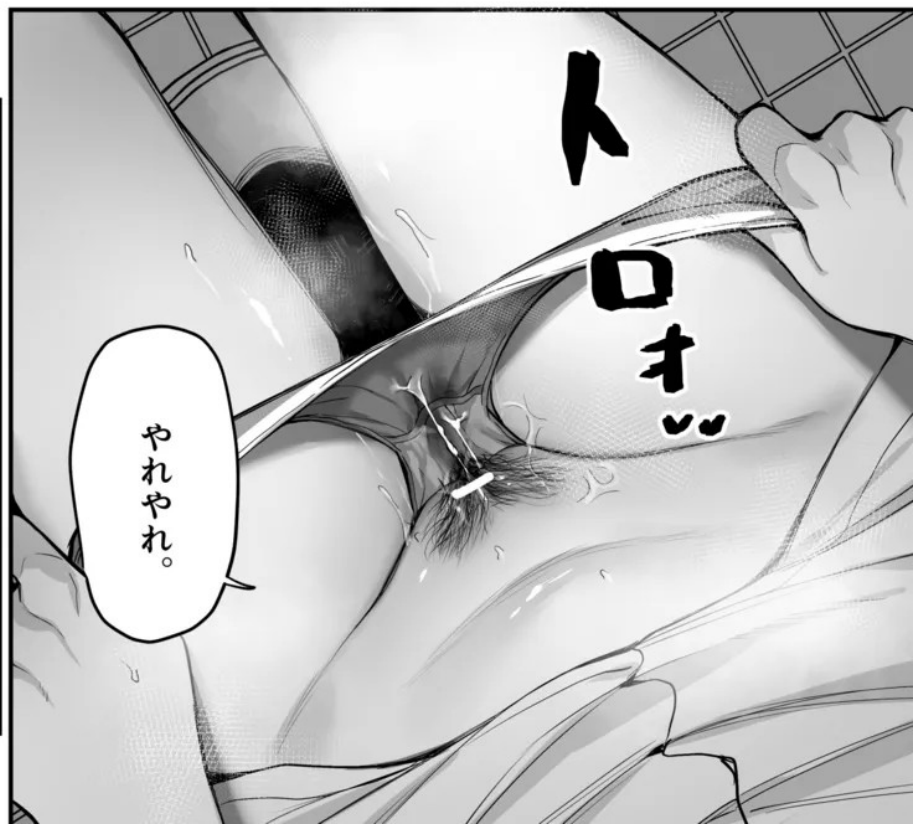
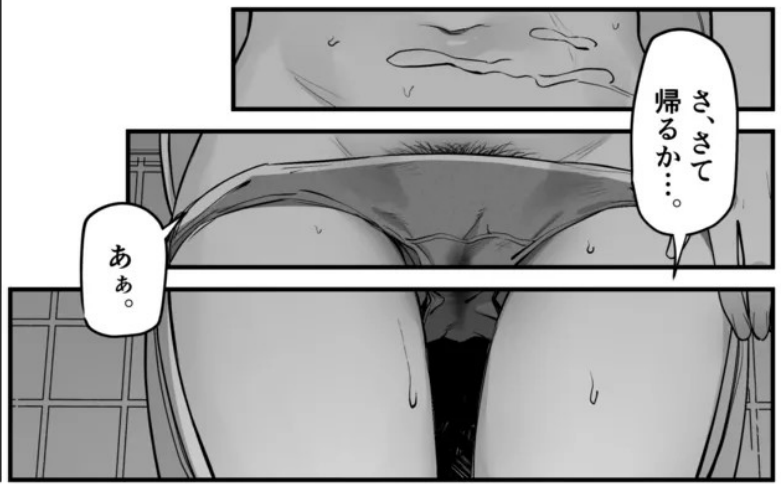






他人の脇を
何だと思ってるんだい？

キミは一体、



実は・・・な相関図

過去

委員長ちゃんごめん。
掃除当番替わってー？さんきゅー！

元クラスメイト

あ、櫻井さん。
また・・・？しょうがないなあ・・・

「エッチなお店に行ったら、
昔の同級生がいた話」

現在

山田

櫻井 月菜

山岸 佳代

教え子

授業がわかりやすくて
いいね。

あらあら？なんだか
最近仲がよさそう...？
うふふ。

おっばいでけー！...

- 実は元クラスメイトの櫻井さんと佳代ちゃん。(あと山田)
- 特に仲が良かったわけではない。グループが違う感じ。
- 山田は空気
- 現在は、まったく交流無し。

- 茜と凧人含め、ほとんどの生徒は佳代ちゃんが実はやりまくっていることは知らない。
- なお、佳代ちゃんが自分から生徒に手を出すことは(ほぼ)無い。

ちなみに、今後それぞれの話で佳代ちゃんが
がつつり出てくることは無い予定。
あくまで裏妄想設定。

北桜 茜

ちょっと見過ぎ
じゃあないかな？

「優等生にオ○ニーを
見せる話」

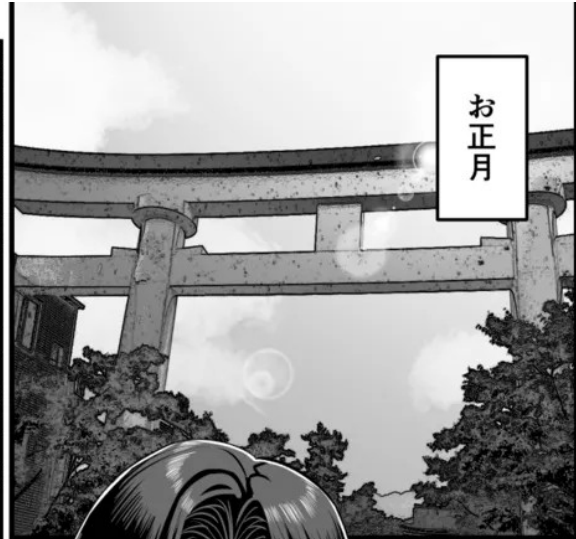
田中 凧人

半脱ぎ委員長

どこを見ているのかな？



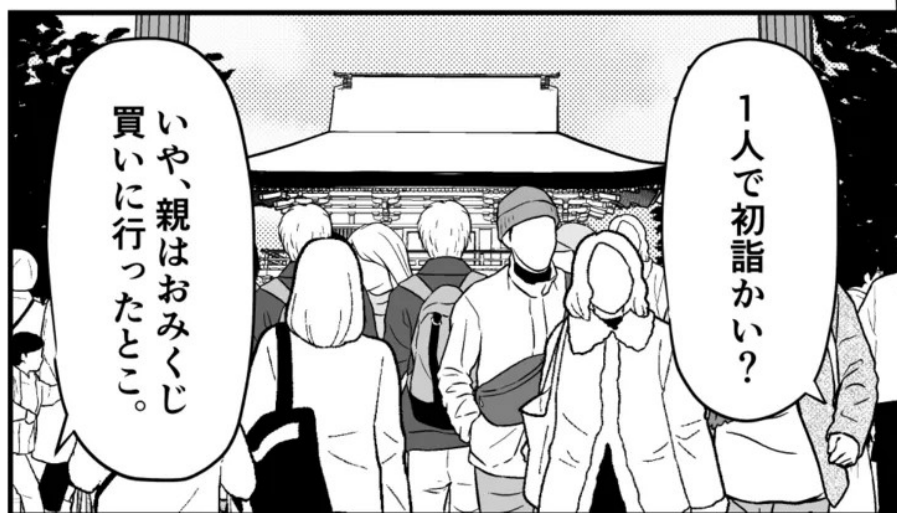
お正月

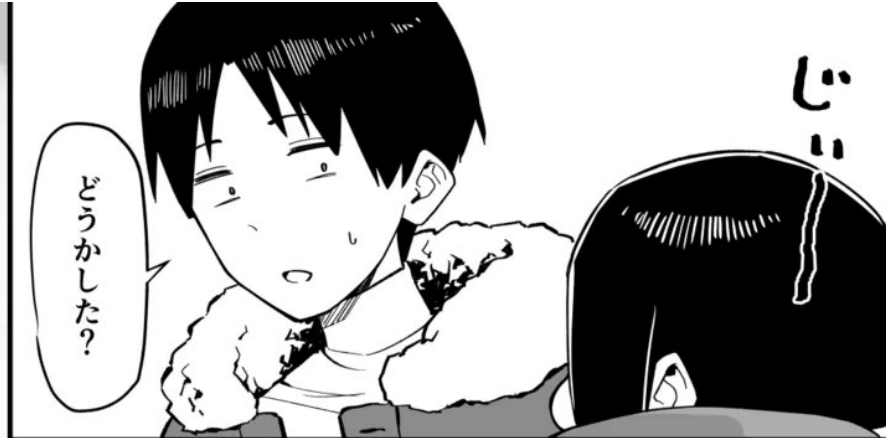


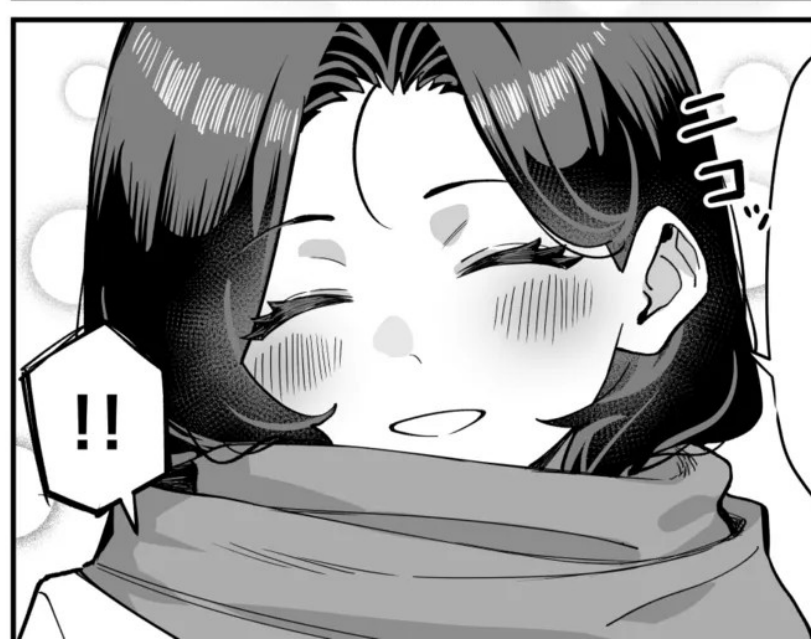
奇遇だね。

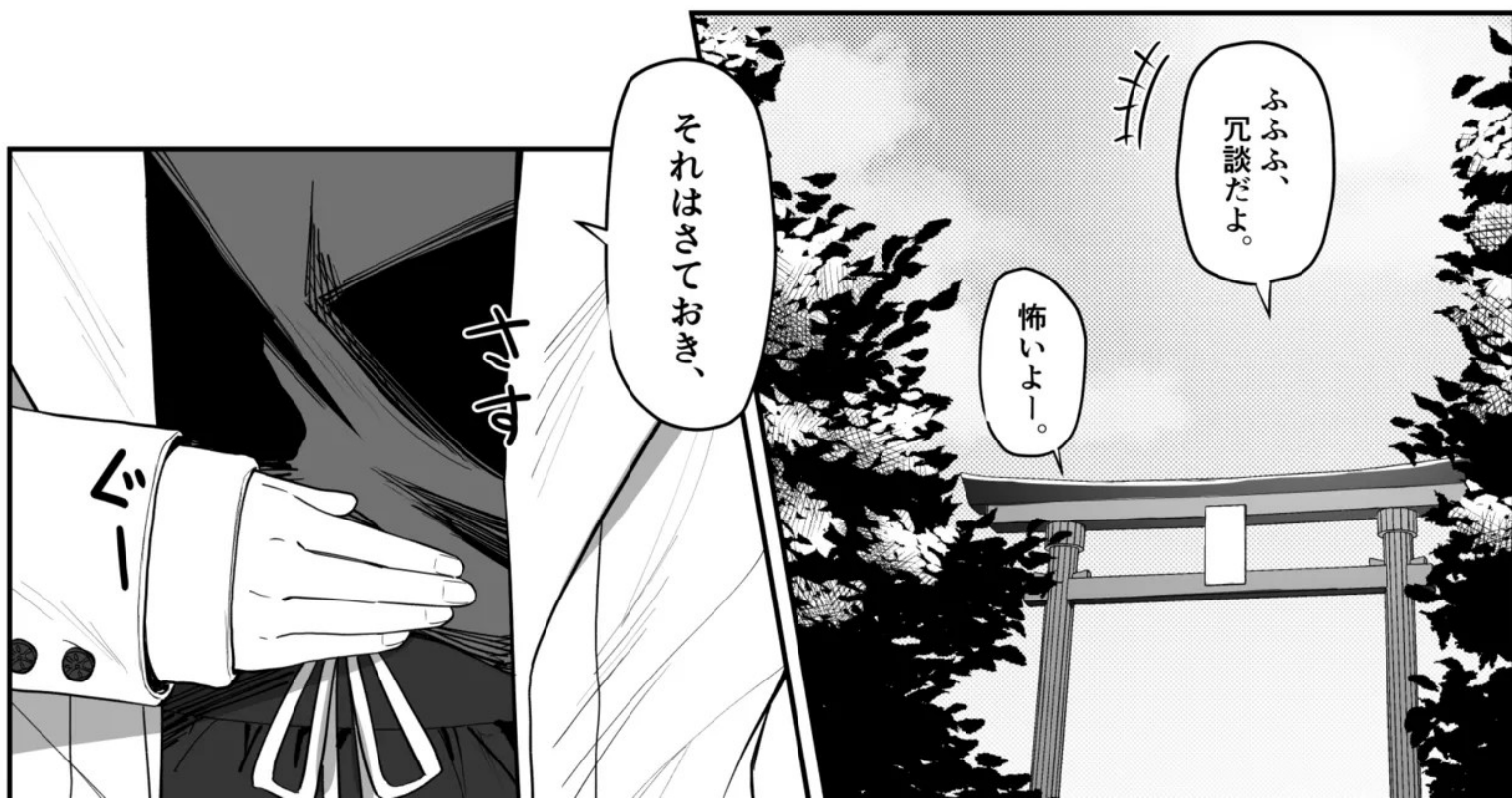
見覚えのある
顔だと思ったら。

委員長!?











どうだい？

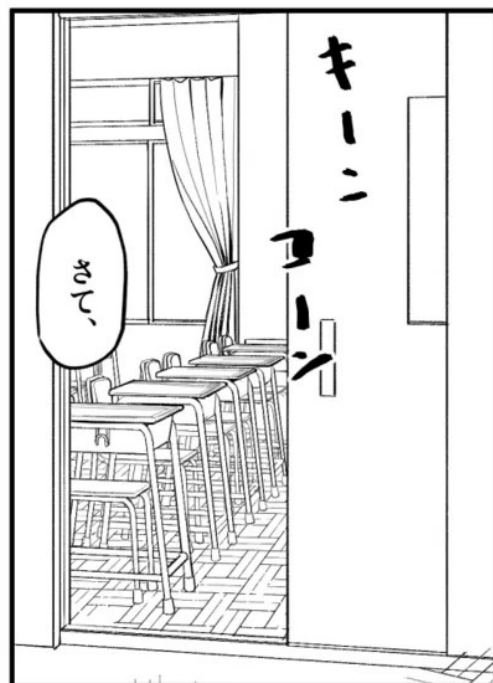
私はあぁいうのは
そつなくこなせるタイプだよ？

自己PRを欠かさない
優等生

ご近所付き合いも
上手い。

？





中間テスト 上位成績者

1位	北桜 茜	891
2位	八乙女 卓也	841
3位	西園寺 京子	839点
4位	冴島 雄二	822点
5位	角館 麗奈	816点

この間の中間の。

補習？
なんの？



キミ、
勘違いしていないかい？

やれやれ。

スッ

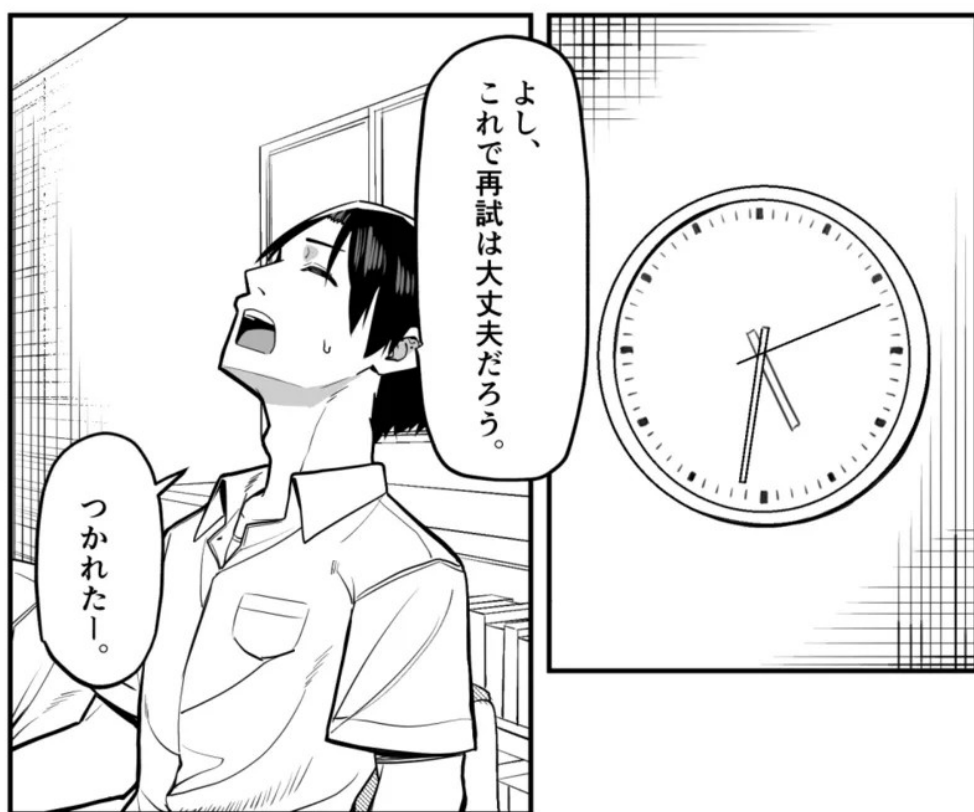
いや、だから、
赤点だったんだけど…

赤点を取った人だけが
受けるんだよ？

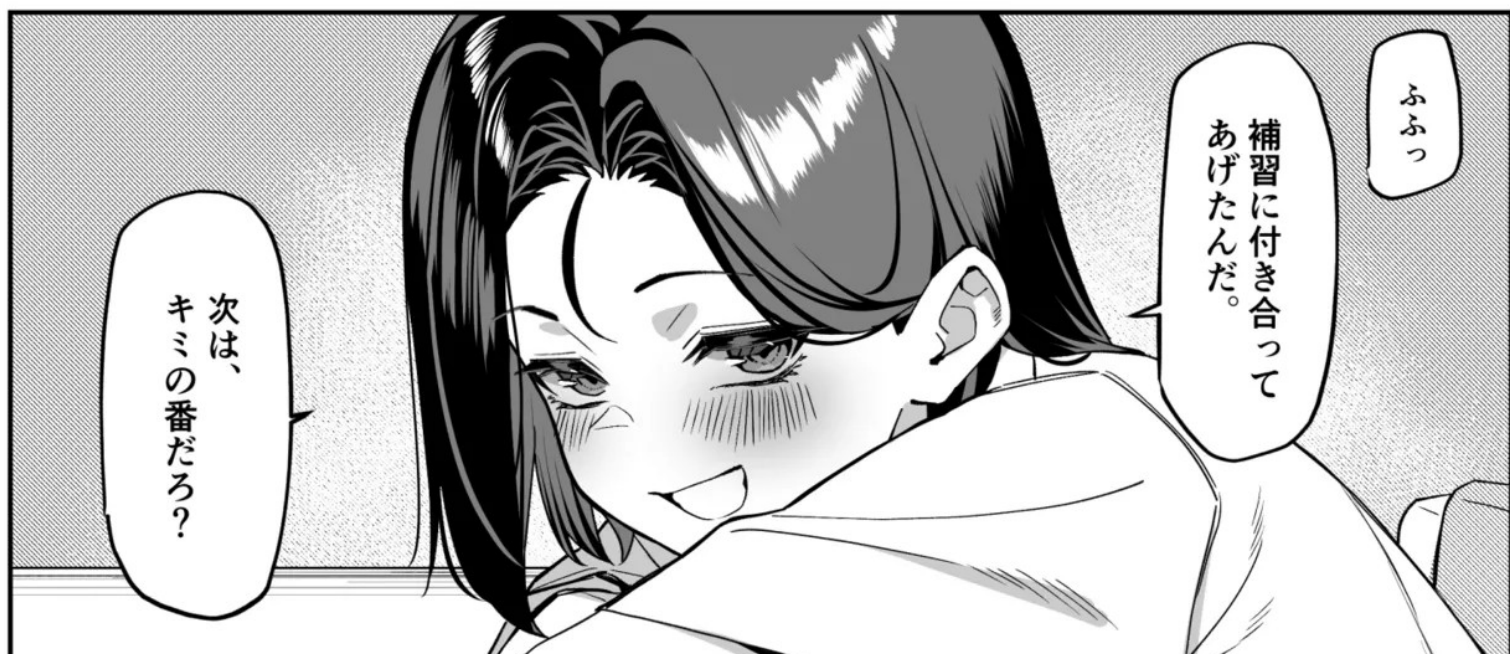
補習というのは、

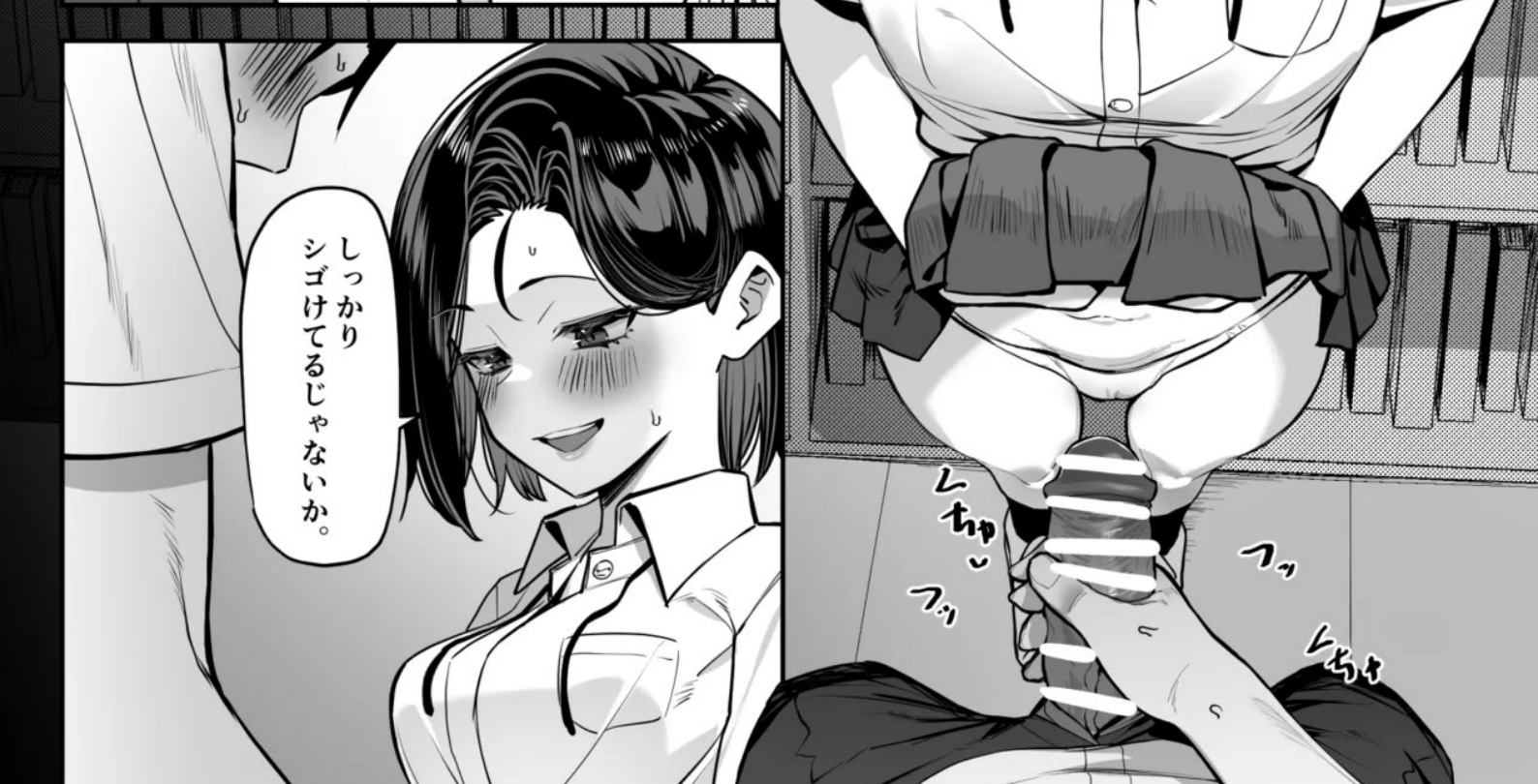
バ
ー
ー
ー













こんな環境でも



すごく興奮する。

その事実

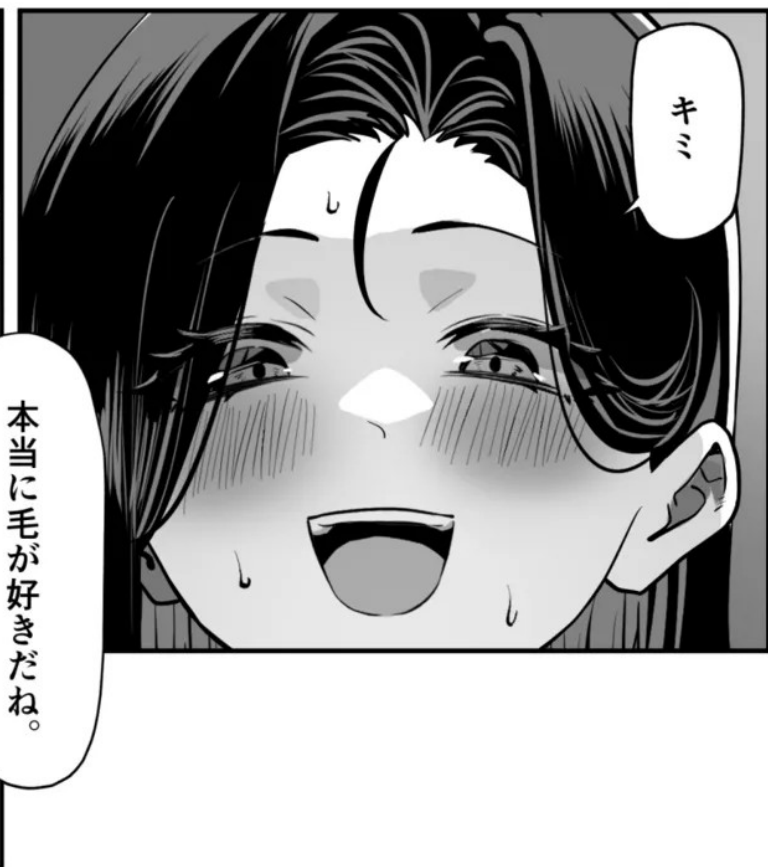


ちゃんとキミは

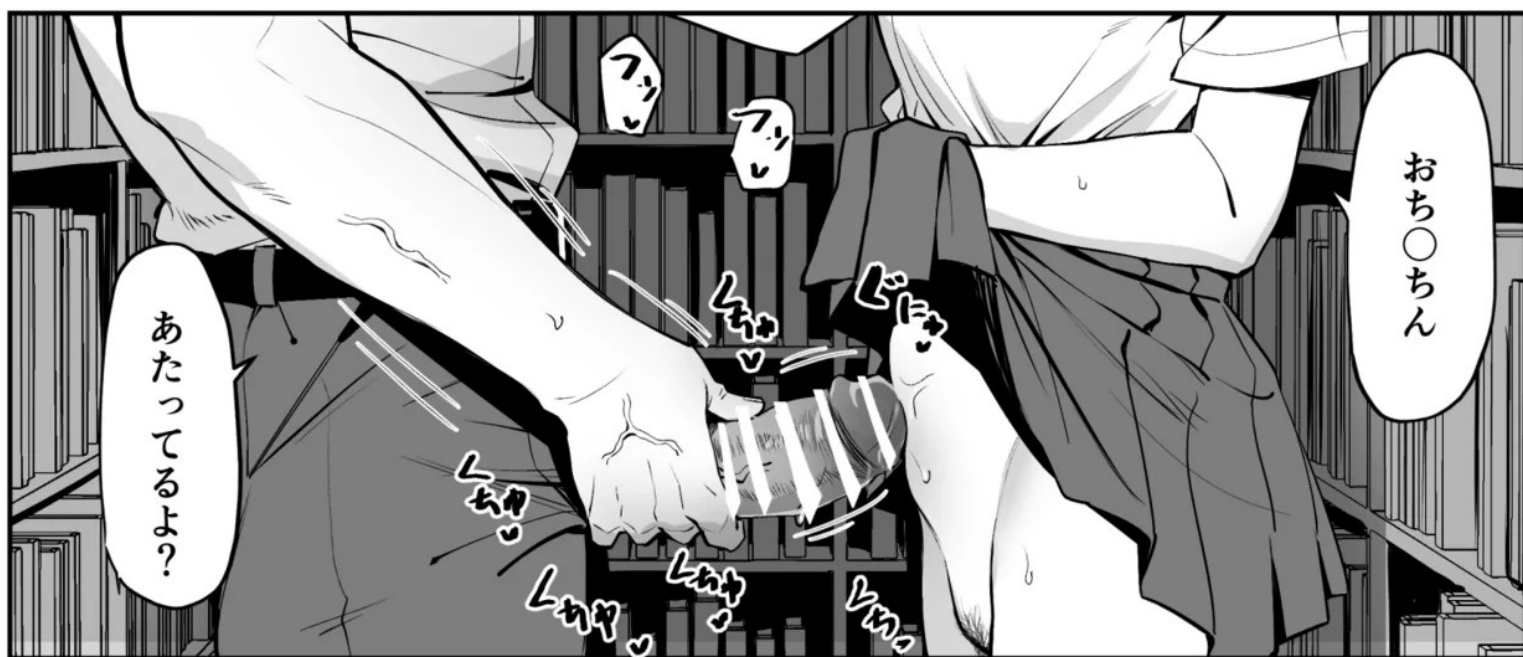
私のカラダに欲情し

性的満足感を
得ようとしている。













俺は今、
同級生の

布越し生おっぱいを
揉んでいる。

はあ

お
い
や
う



५०
३३

はあ

何

い
に
う



もい

は

付

七
十

1=

は

は、



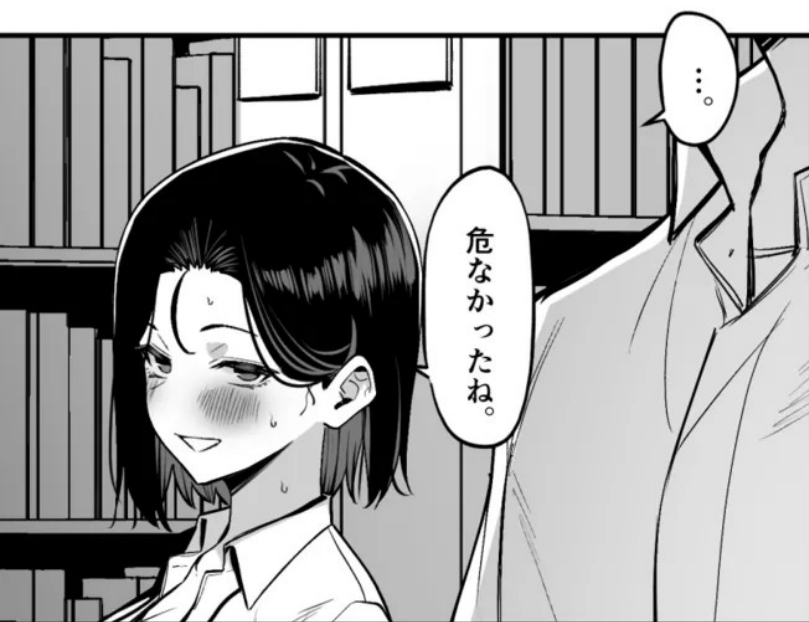
えっ
ちい

あ
ん
ん

あ
ん

あ
...







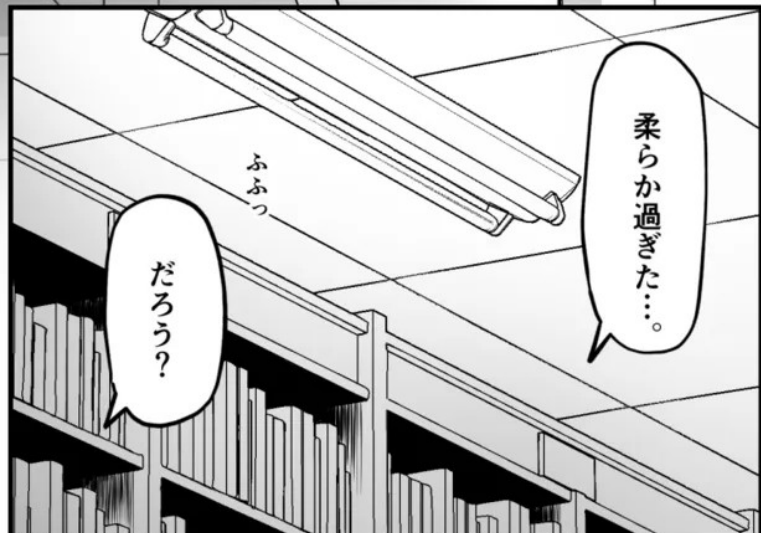
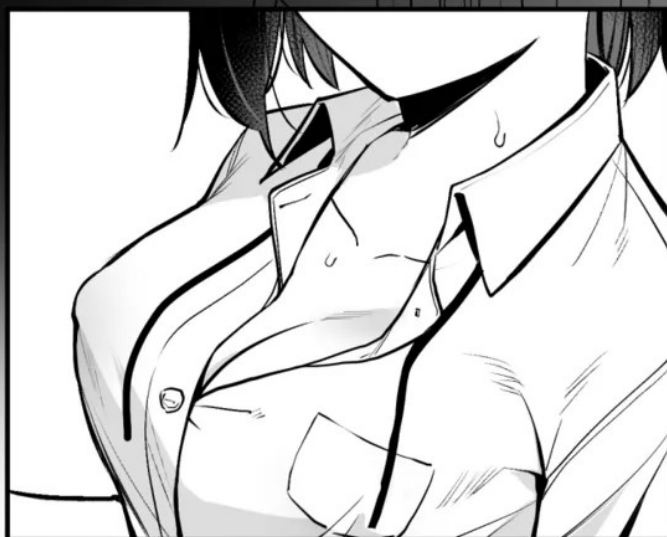
強いて言うなら、
出すのが遅いキミかな？

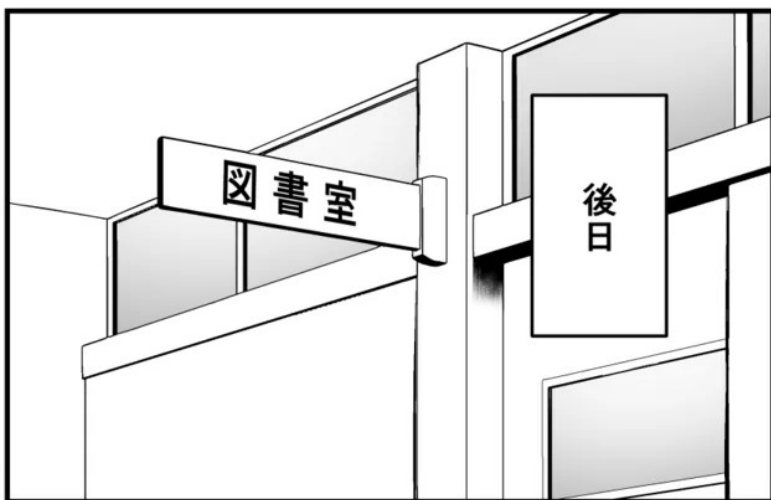
ん
ろ
お

誰のせいだよ。

なんでだよ。

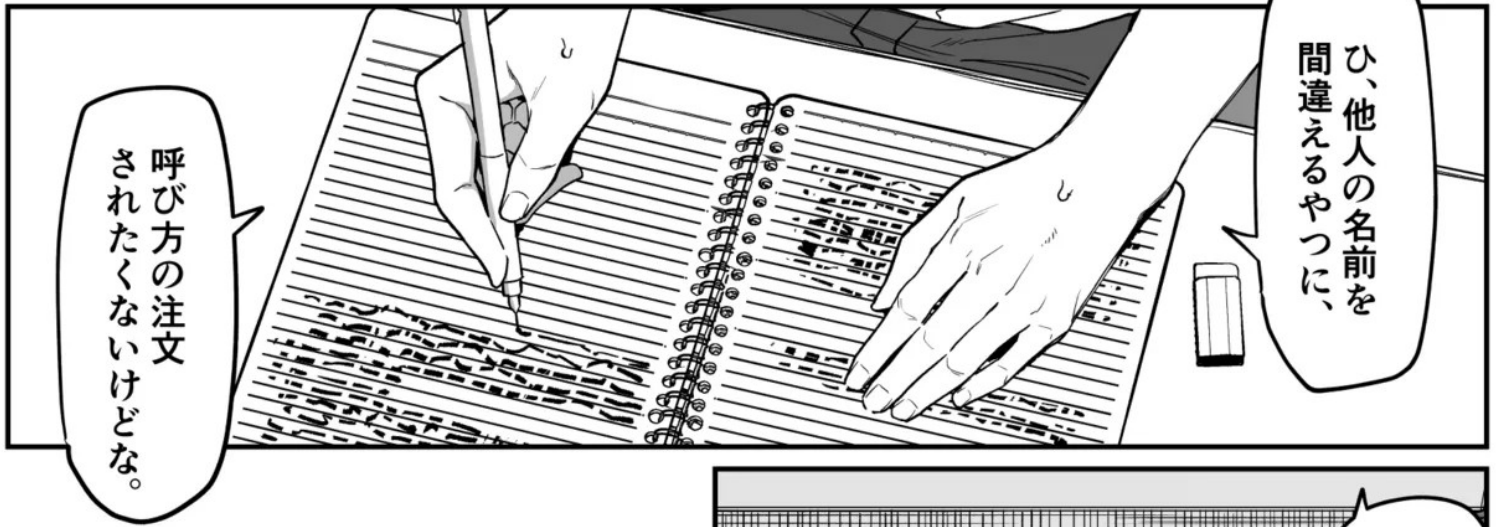






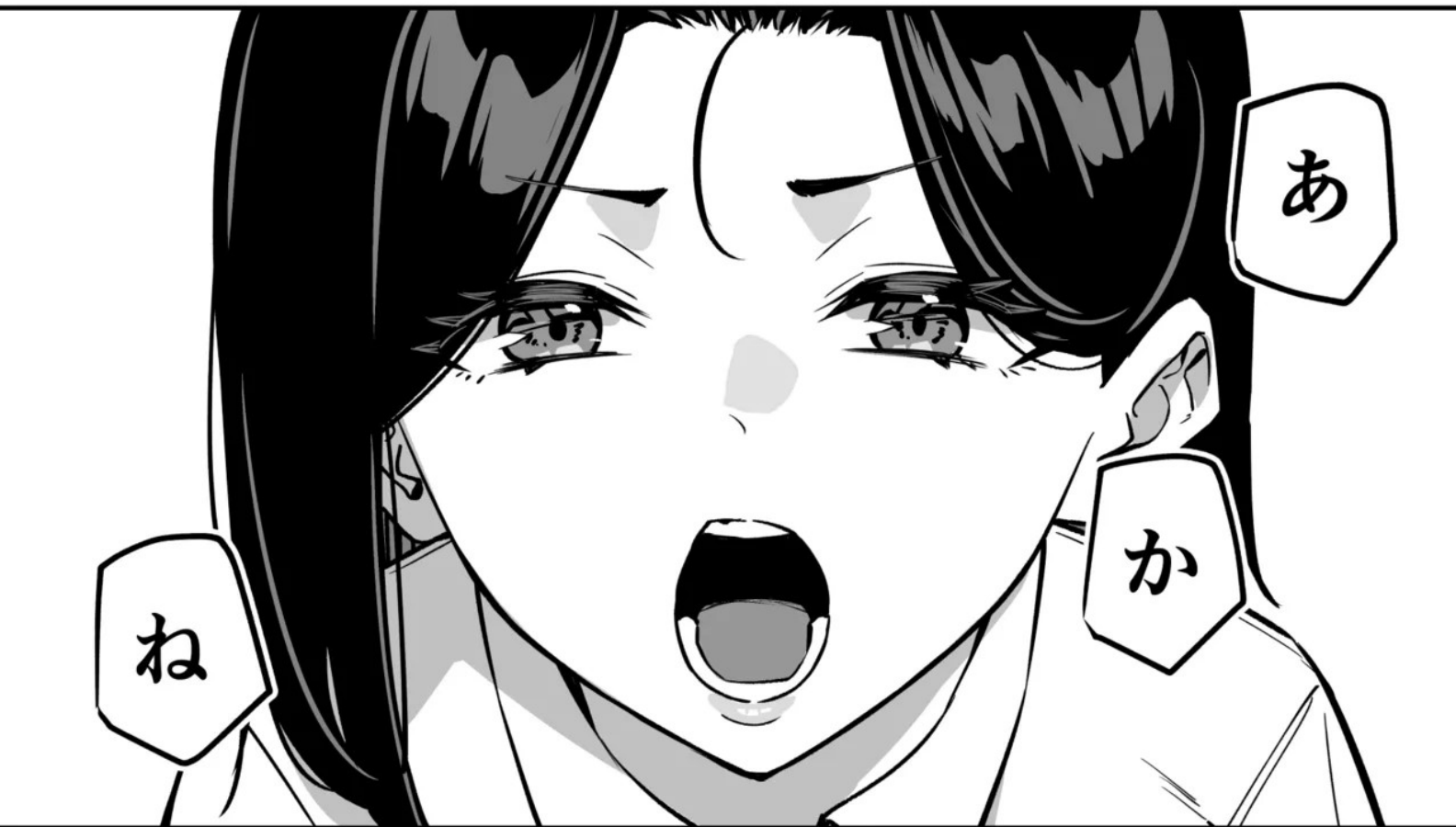












あかね
茜。

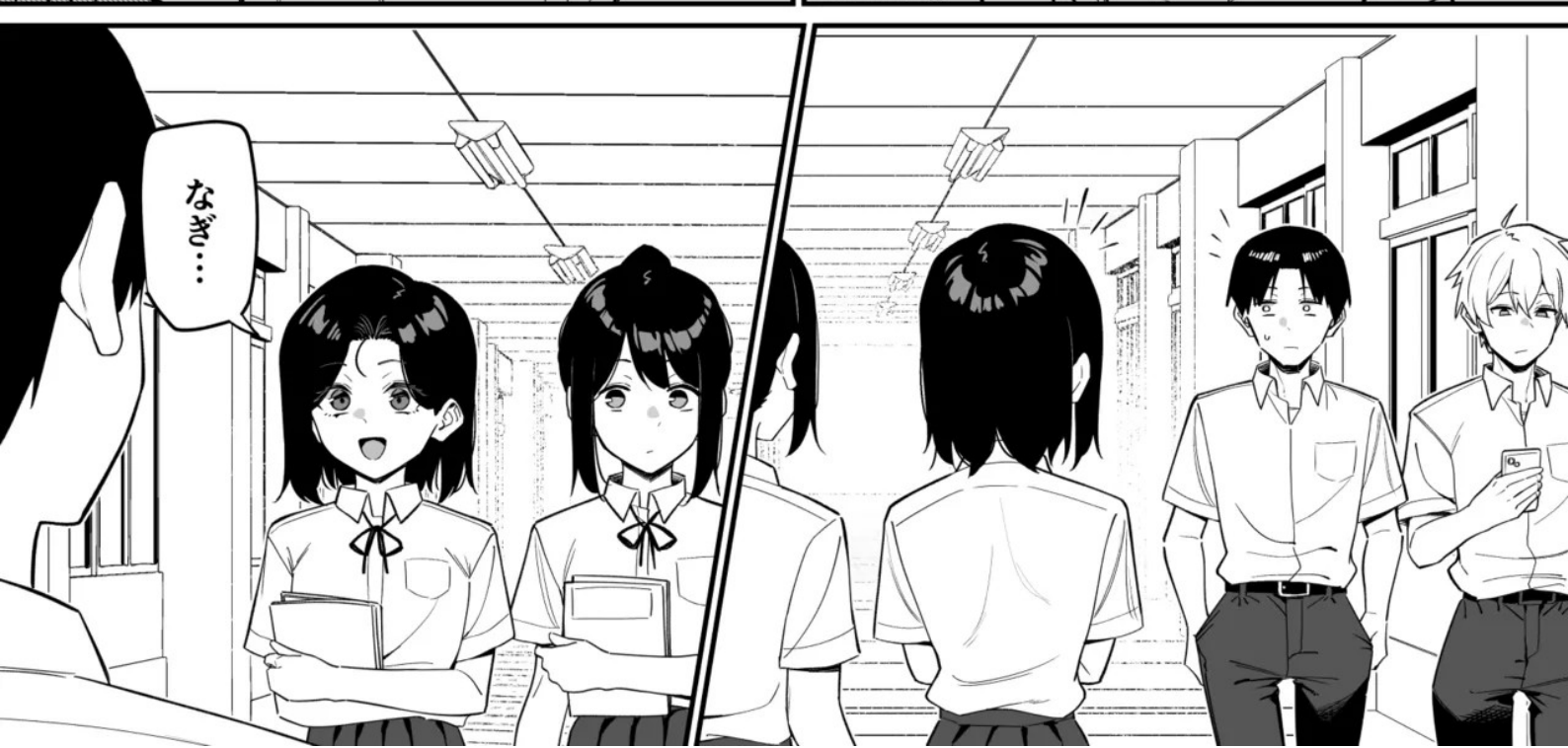
あはっ。





—つづく—

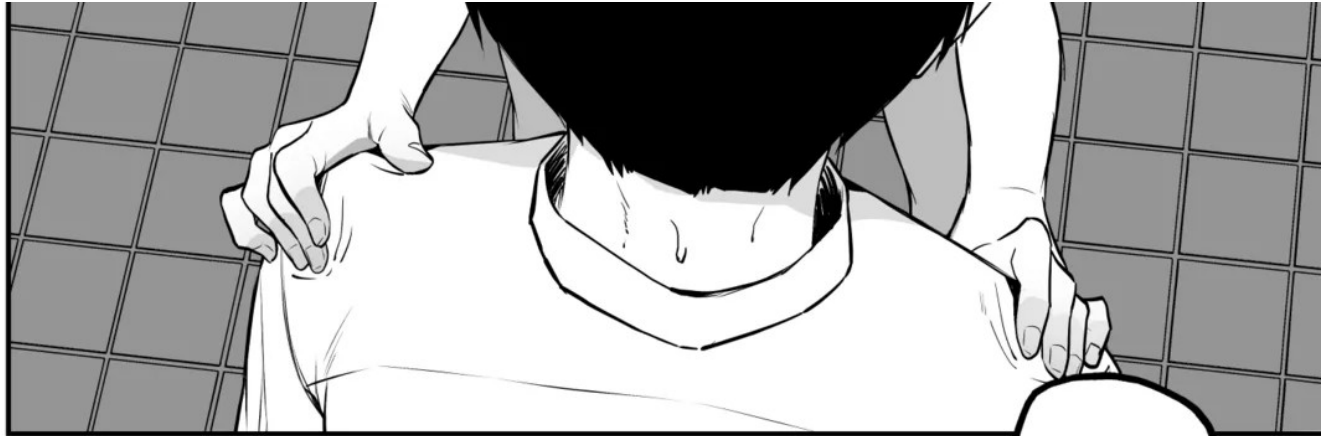












こういうのが
いいということかな？

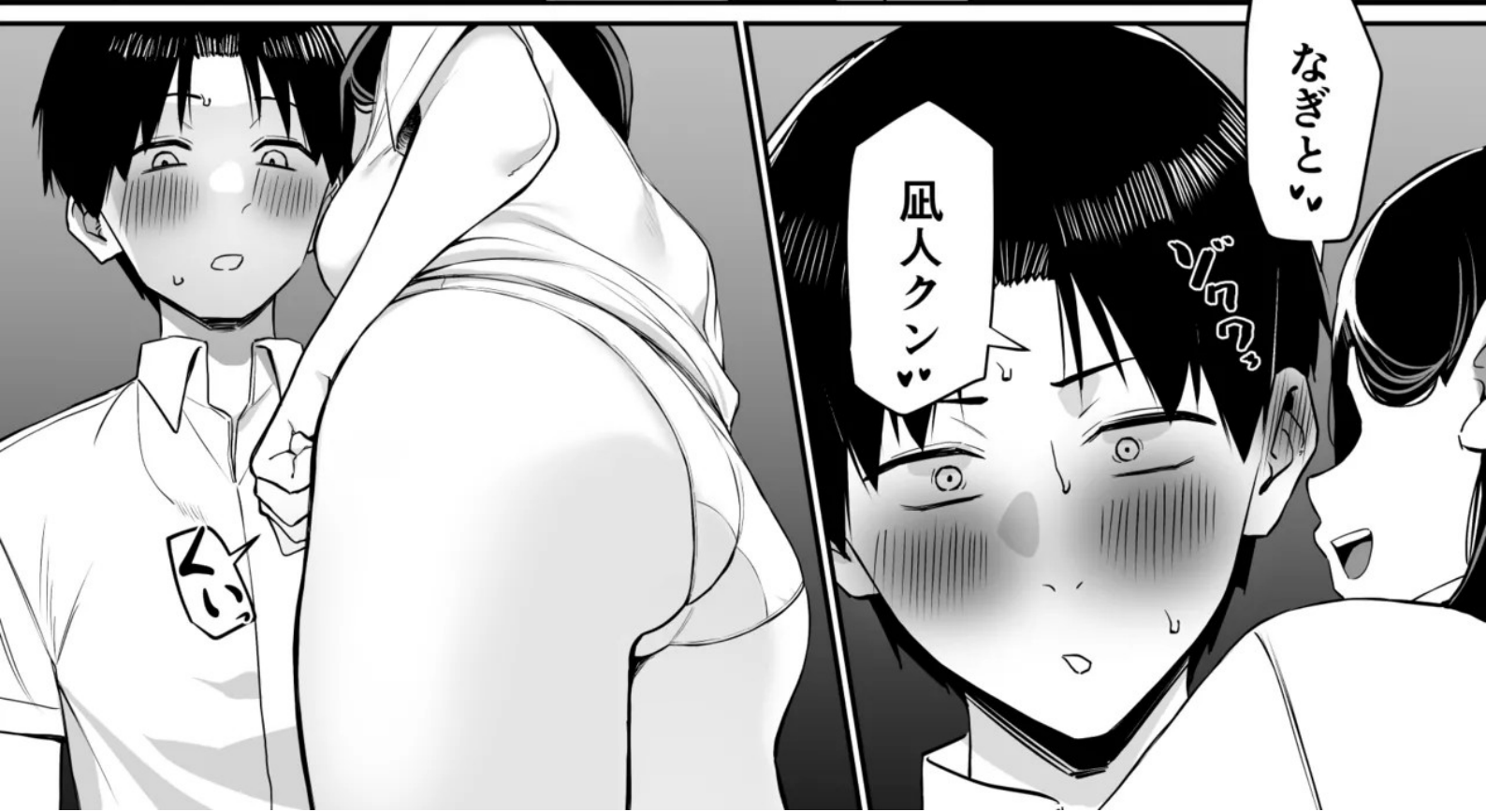
え
??
い

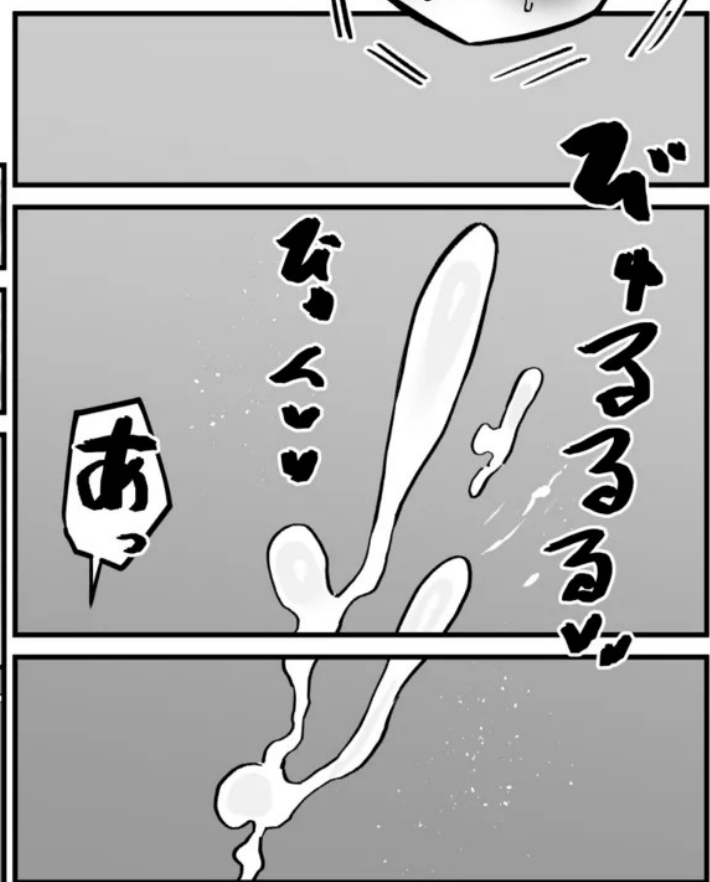
な・ぎ・と
い

ホ・ン・グ

↓
↑
↑
↑







おまけ

風人!!

スマホで録音は
どうやるんだったかな?

…教えない。



キミのおち○ちゃんは、
大きい方なのかい？

…なんだよ急に。

いや、
ふと思ってね。

それとも、
小さいのかい？

そりゃあ、

まあ…。

相当デカイよ？

風人は見栄を張った。

相当。

ふーん。

まあ、サンプルが一本では
キミの言うことが嘘かどうかも
分からないな。

ち○こを本で数えるの
やめてくれるか？



ハッ!!



他のも見てみたい
ところだが…。

他のって、お前…。



あ、ちなみにキミのお〇んちゃんは
君が思うほど大きくはないよ?

残念ながら。

じゃあね、
田山くん…だったかな?



キミのおち〇ちゃんは
見飽きてしまったからね。

どーもー。

今度から彼と
楽しむことにしたよ。



だ、だめだ!!

んお!?



じゃあね…。

じゃあね…。

サァー







私は、

ズッ

おち○ちんなら
なんでもいいという

淫乱な女ではないし、

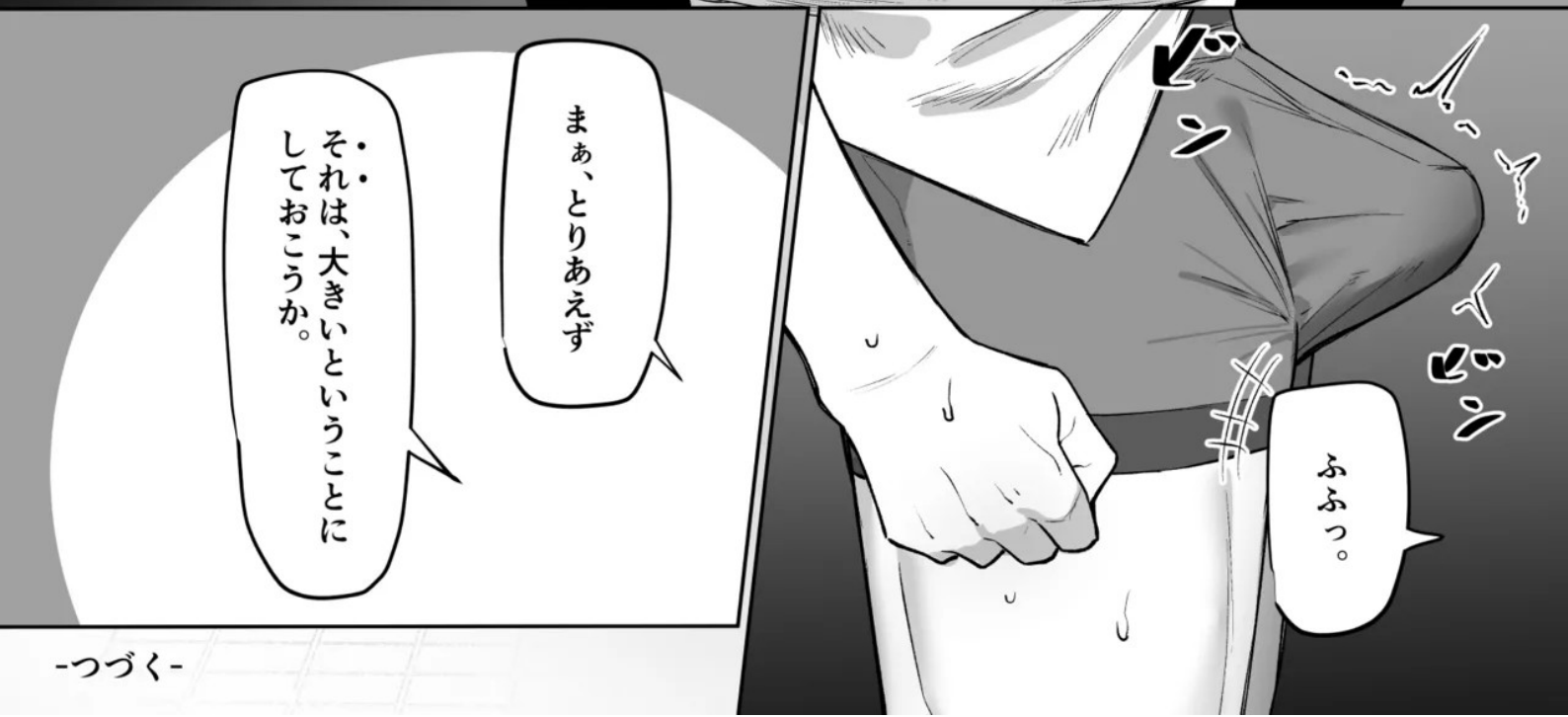
ズイ



誰彼構わず肌を見せる

不埒な女でもないよ？

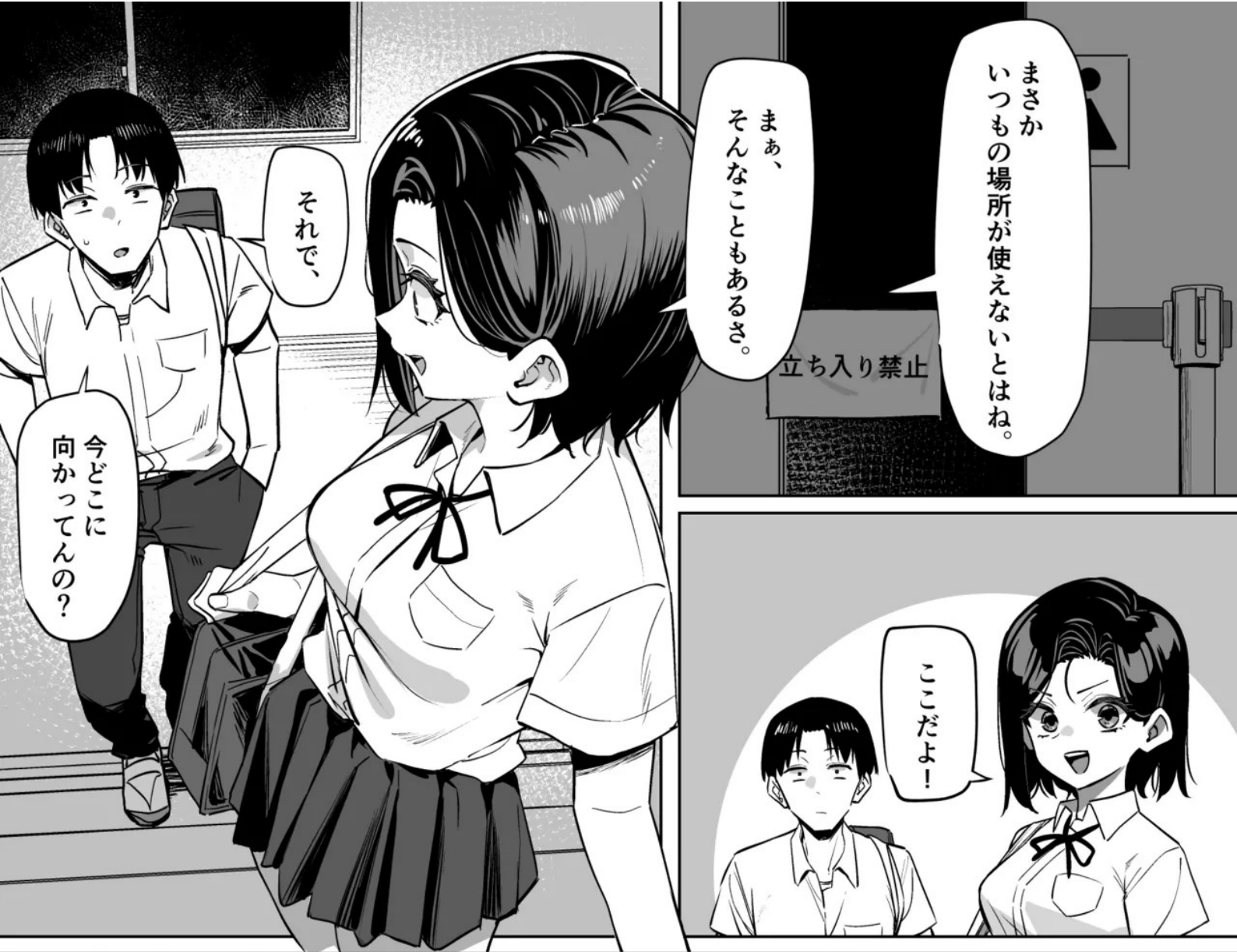
クイッ



ふふっ。

まあ、とりあえず

それは、大きいということに
しておこうか。





キミは私のおっぱいを
見たことがあるのに、

私はキミのおっぱいを
見たことが無い!!

は？

何言ってるの？

俺のおっぱい……？

不公平じゃないか。

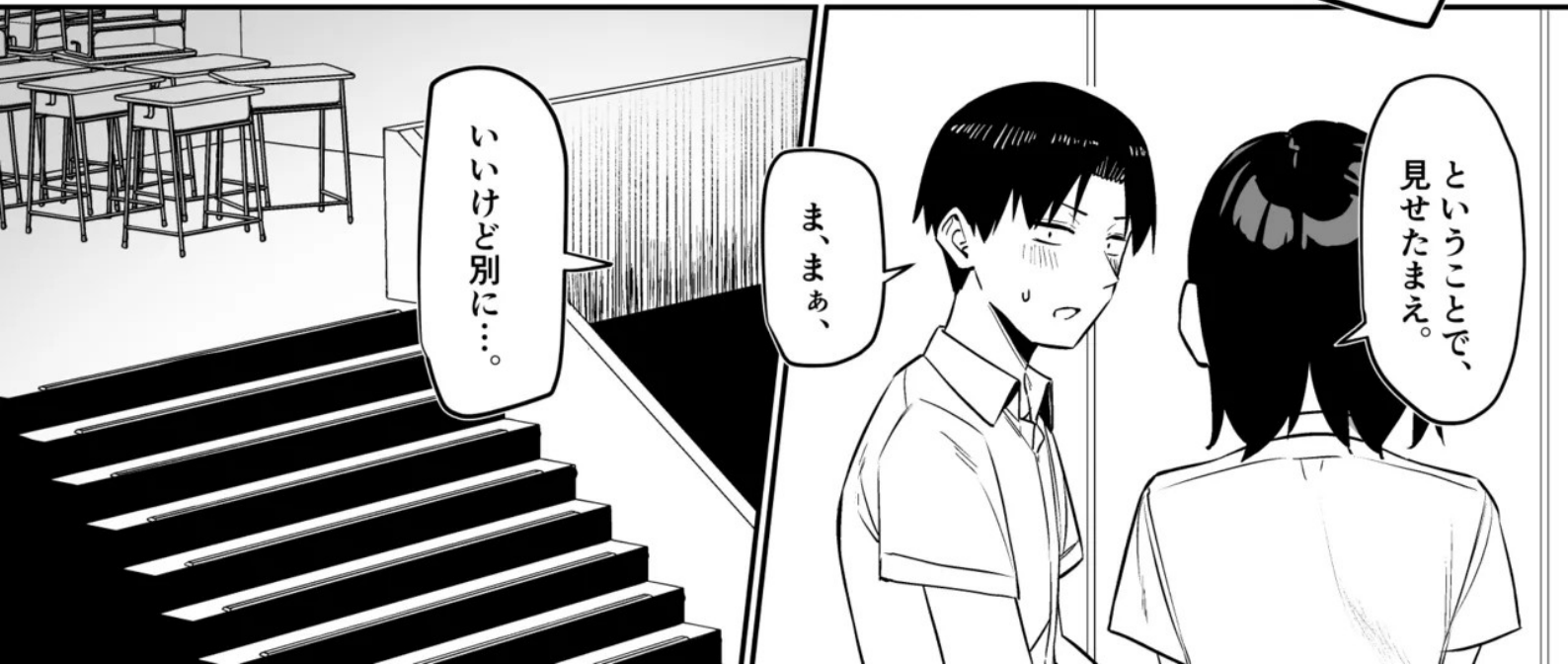
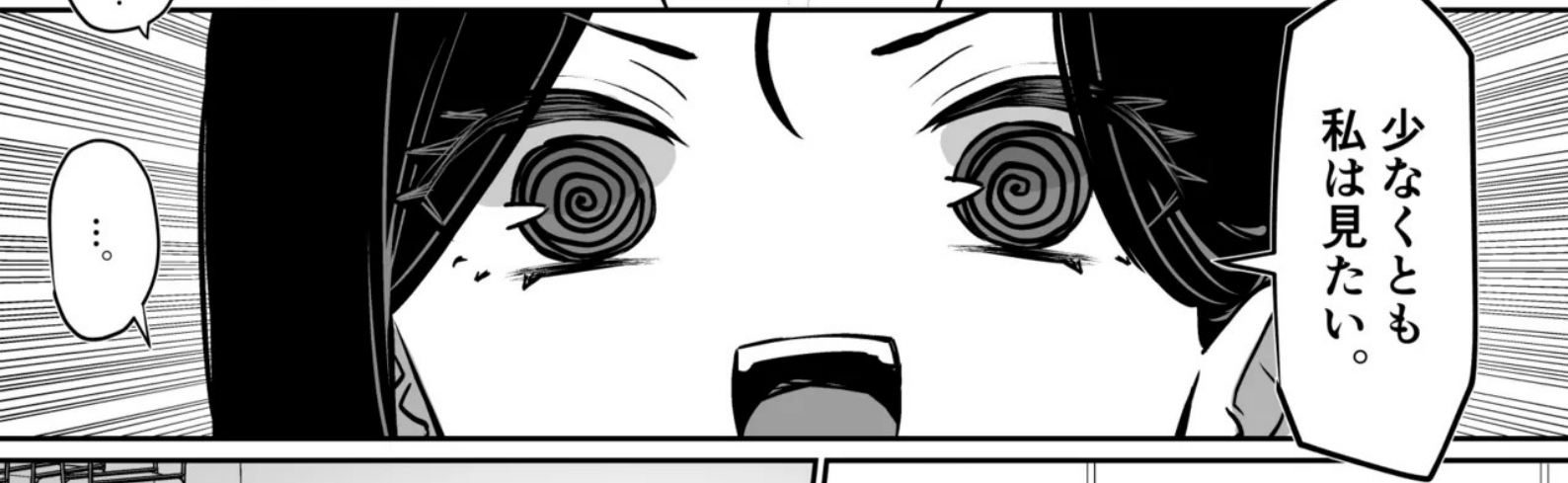
いや、男の胸見ても
しょうがないだろ。

やめろそれ。

女だって
男のおっぱいは見たい!!

…それ、
茜だけじゃないの？

そんなことはない!!





今まで意識して
いなかったが故に

それが恥ずかしいことだと
考えたこともなかったのだろうか？

私はね、風人。

興奮は、

少しの意識の違いで
生まれ得るものだと
思ってるんだ。

頭の中で。

だから、
ちゃんと「言葉」にしてほしい。

今からキミは、
「人に見せるために
服を脱ぐ。」

「私」に見せるために、

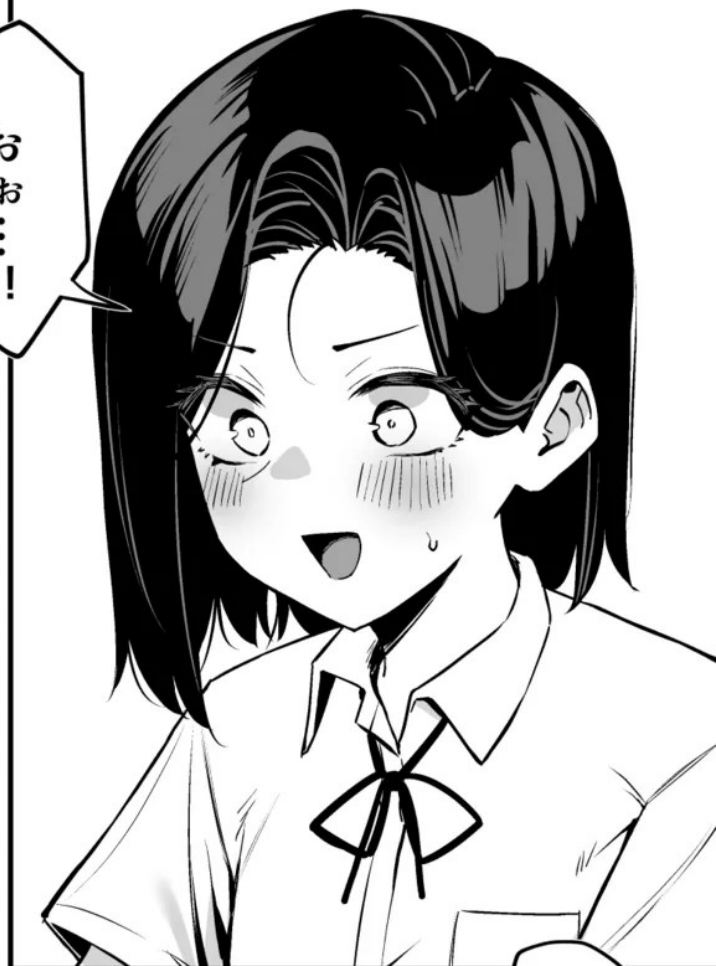
脱ぐんだよ？

ドゥン

スツ



おお…!!



随分えっちな身体を
しているね風人。

はあ

はあ

怖いんだけど
この人。うう

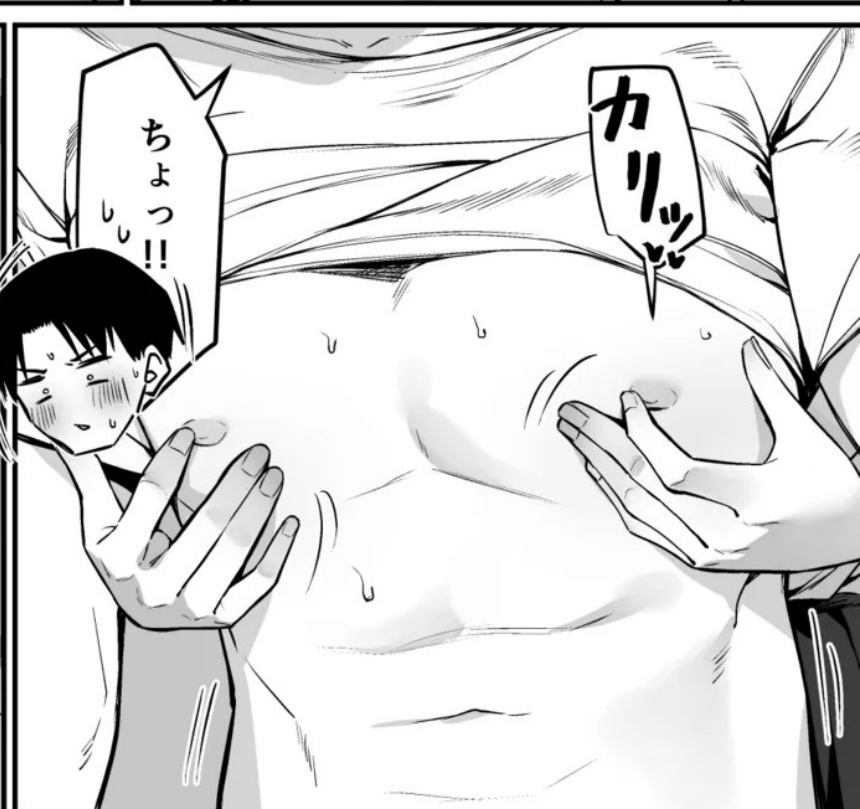


すごくリアルな肉体だね。

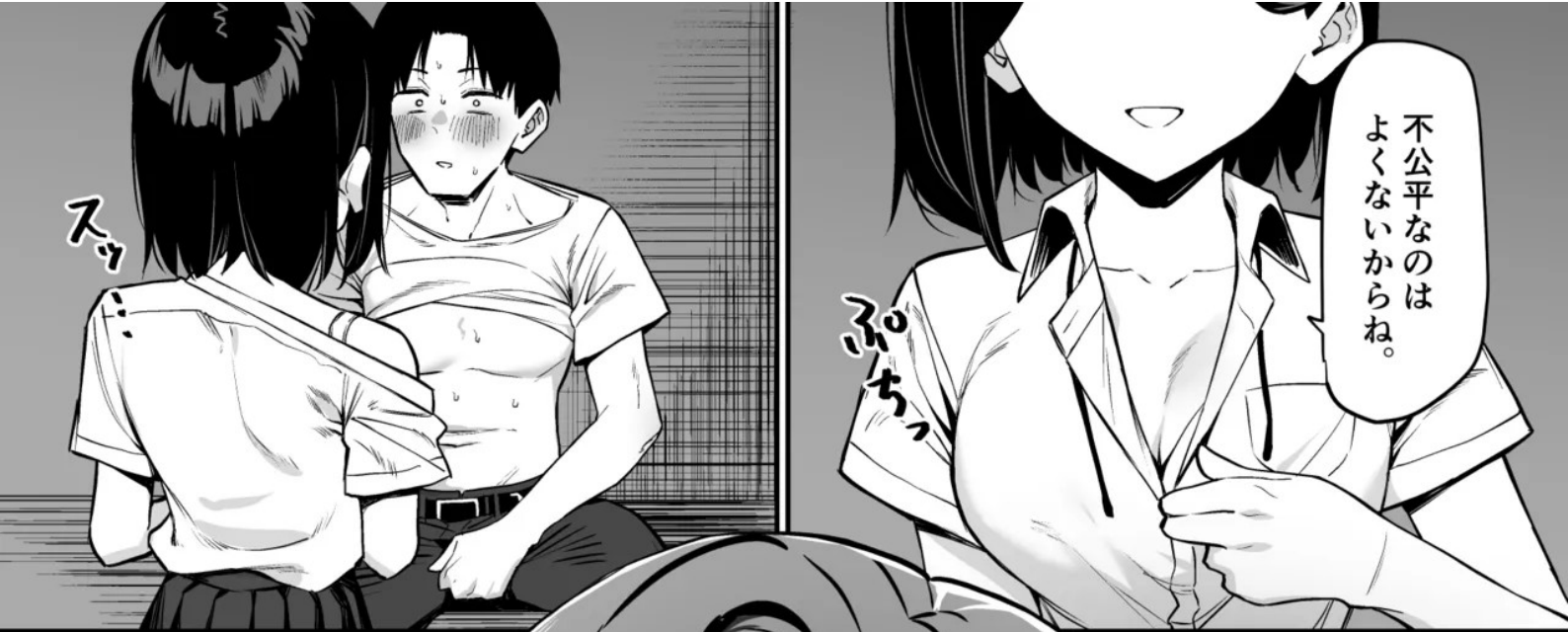
無駄に贅肉があるわけでもない

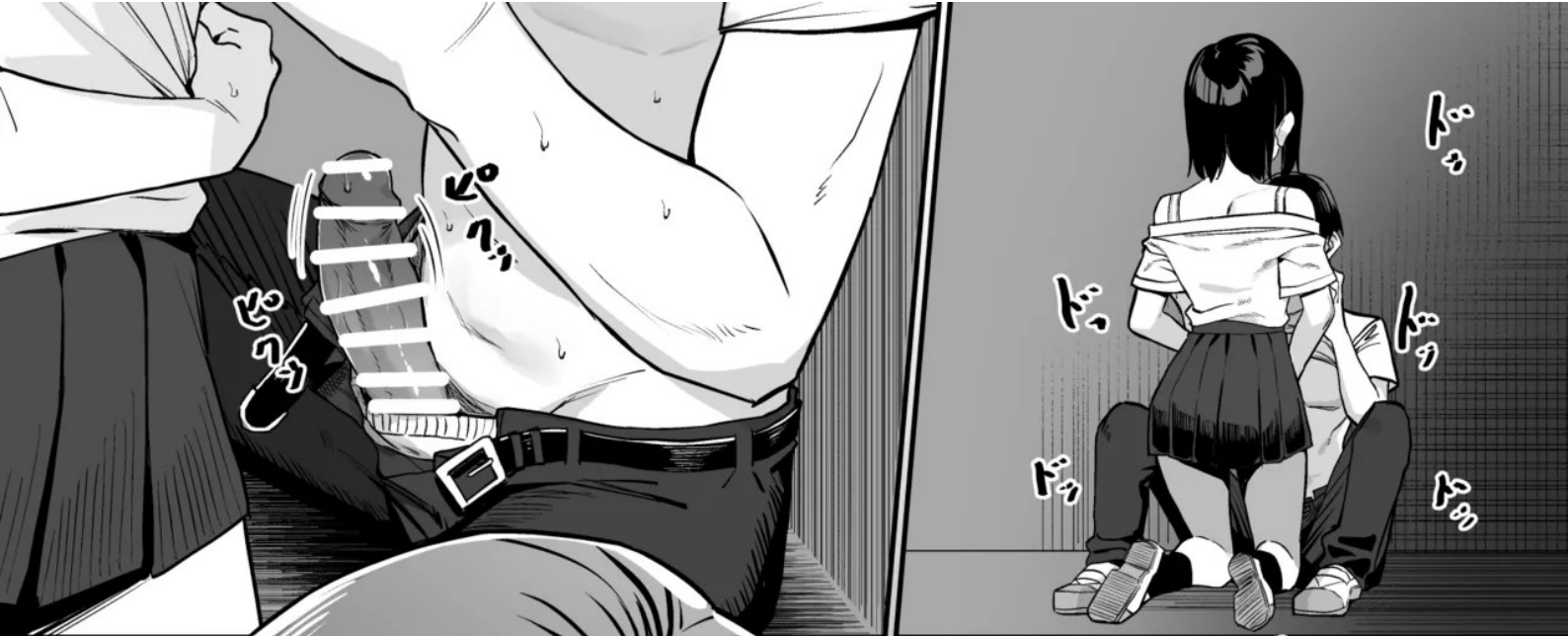
鍛えられているわけでもなく、











この間も
少し触ったけど、

指に力を入れると

その通りに形が変わる。

おっぱいに夢中だね。

やっぱり、
柔らかい…!!

指が沈む。

あ、
やばっ…!!

ふふっ

はあ
は、

は、

ふにゅ

ふにゅ

ふにゅ

ふにゅ

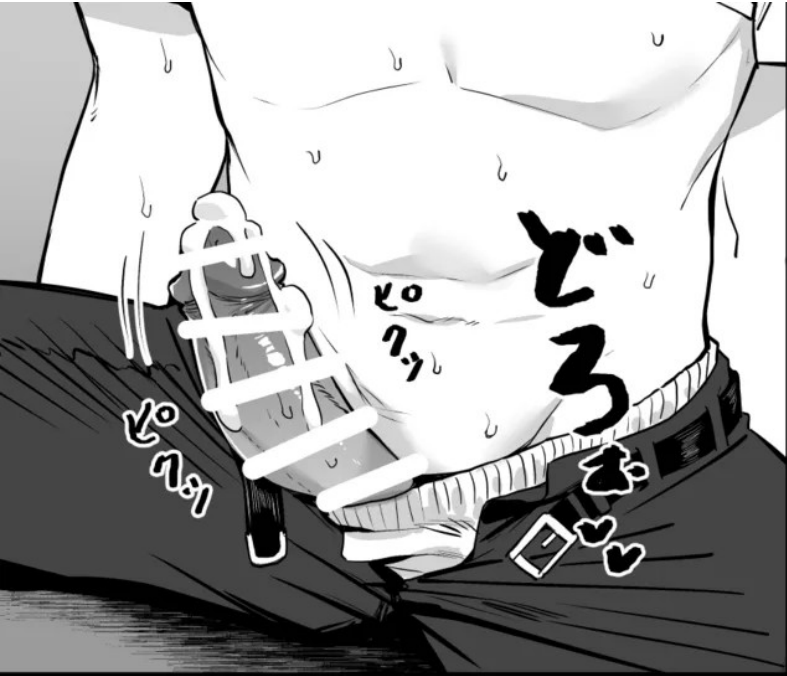
ふにゅ

うにゅ

ぐにゅーん

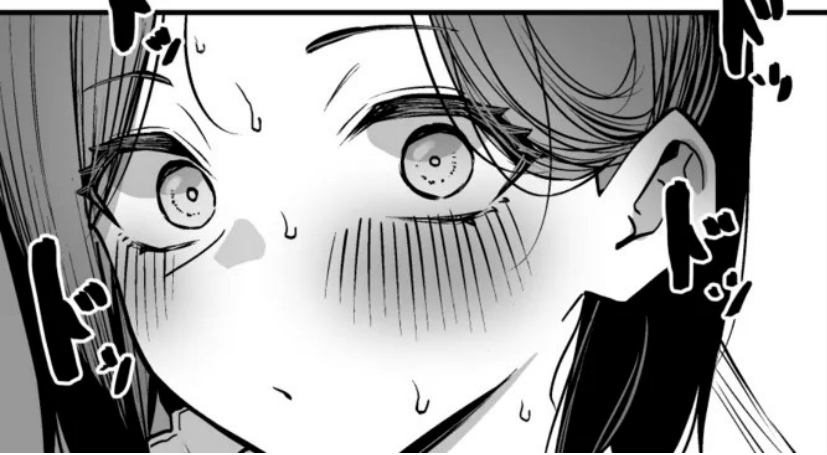
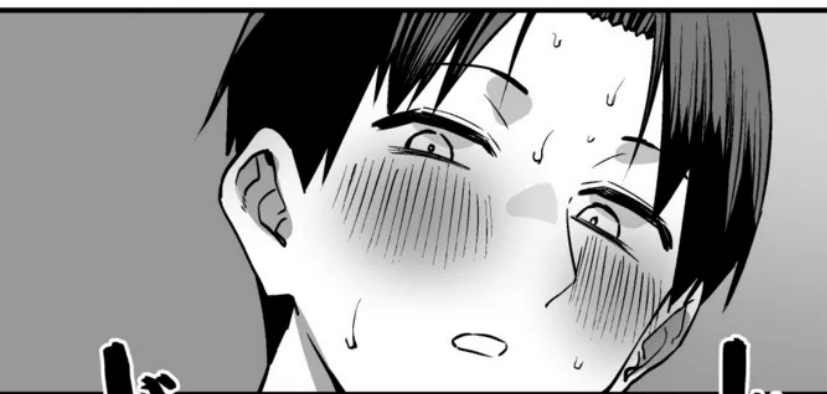
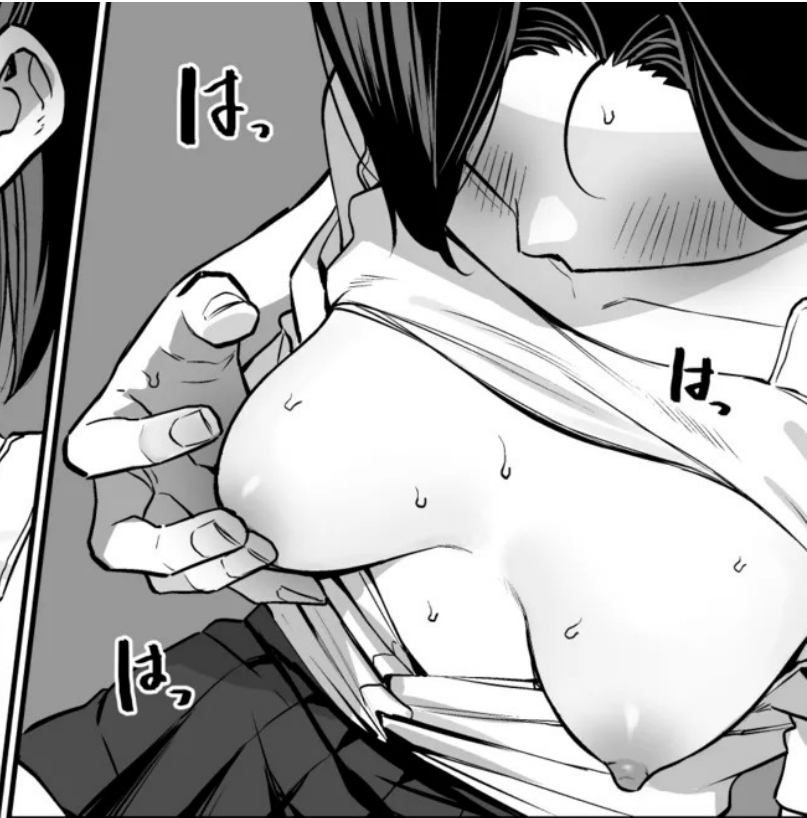
ふにゅ

ぐにゅ



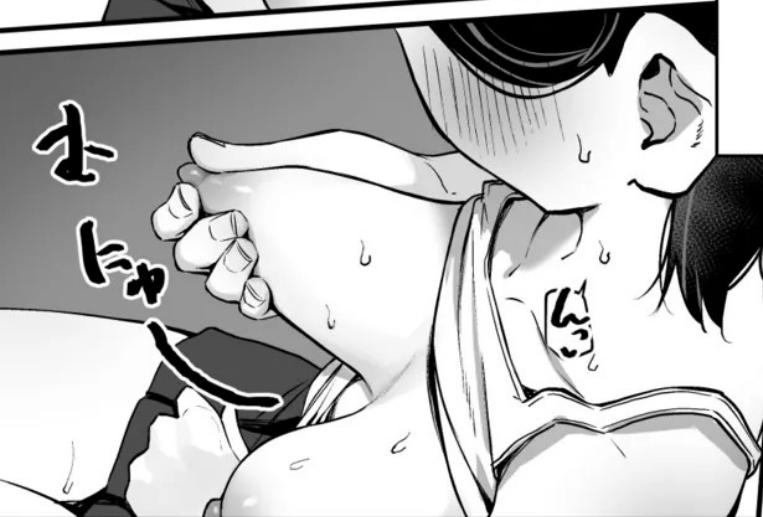








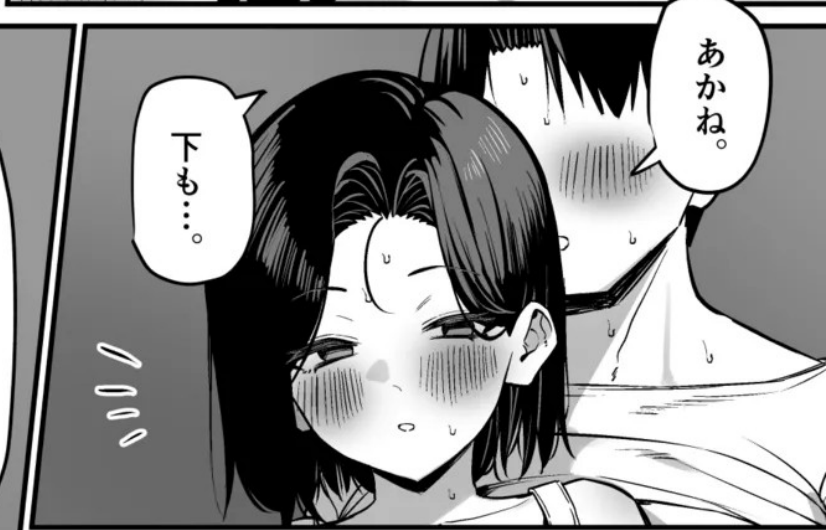
柔らかい「肉」



女子の「におい」



キミは本当に「下」が好きだね。



あかね。

下も…。



でも、今日はだめだよ。

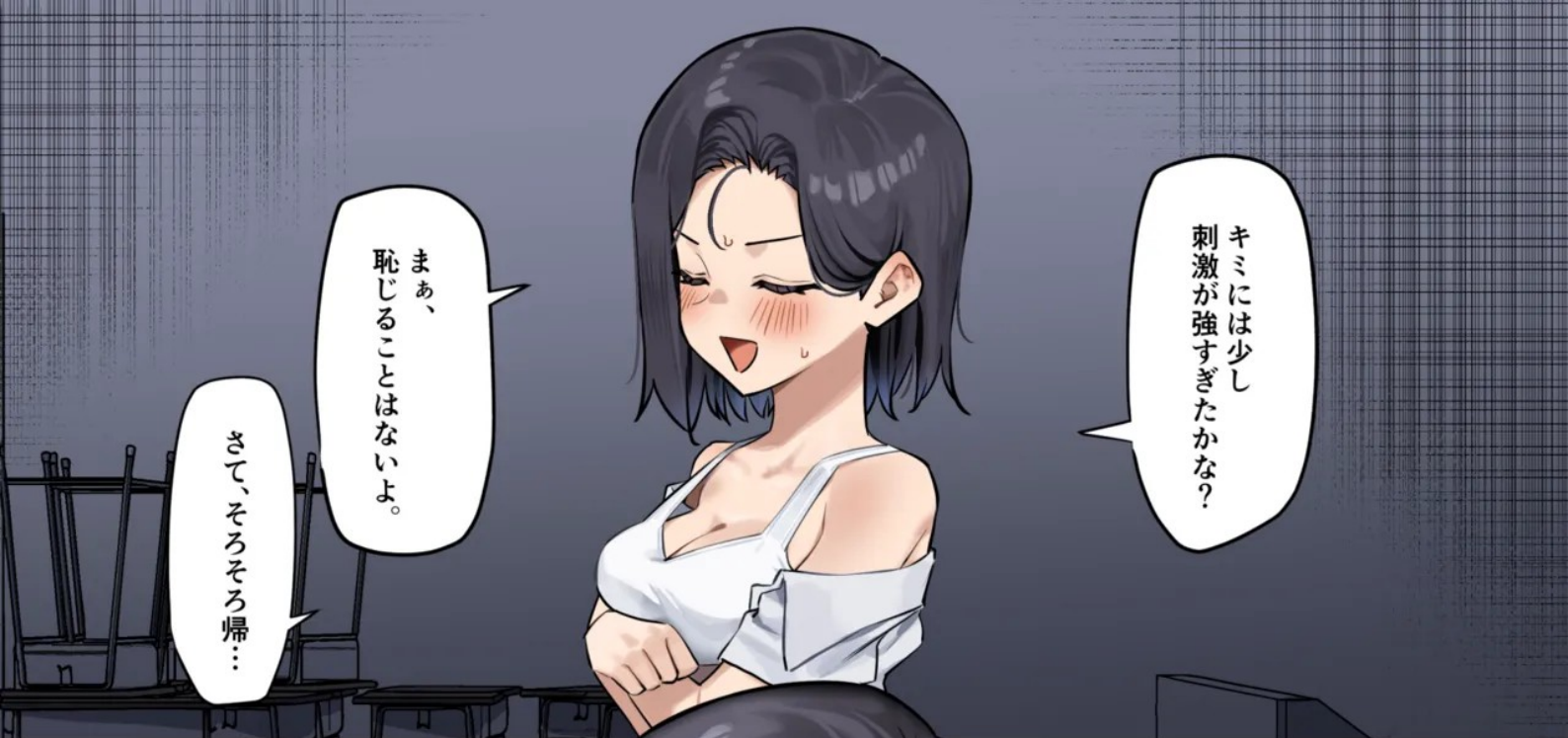






-つづく-





さて、そろそろ帰…

まあ、
恥じることはないよ。

キミには少し
刺激が強すぎたかな？



クラスの優等生の
身体でオニーする話

ドッ
はっ

もじゃっ

もじゃっ

ドッ

はっ

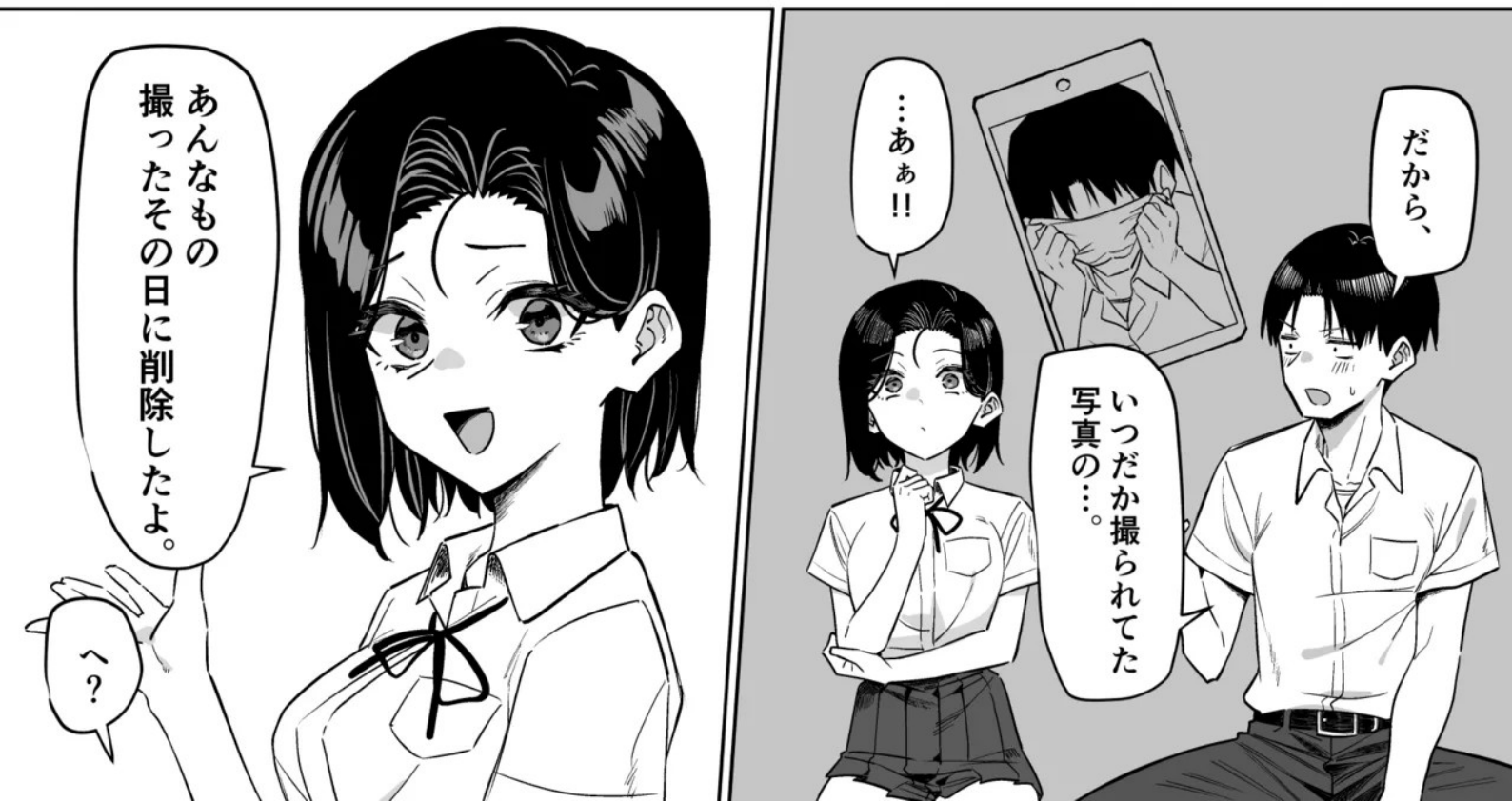
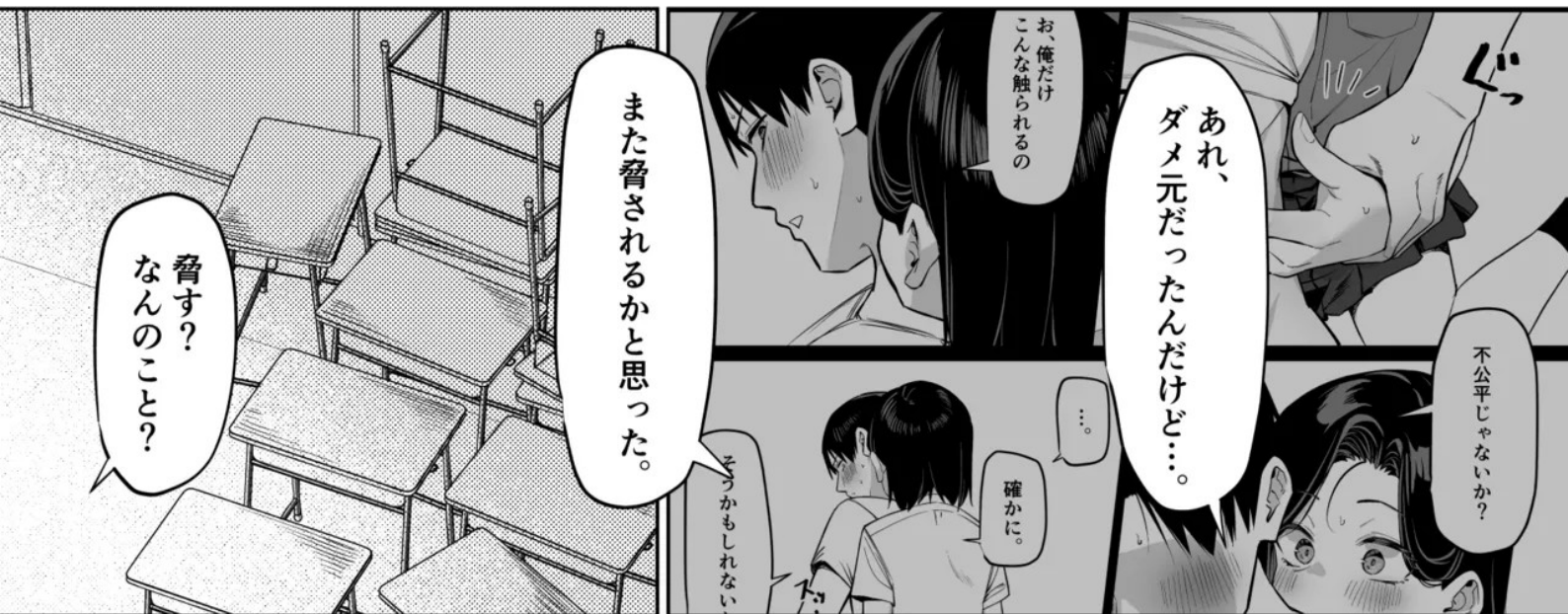
ドッ

ドッ

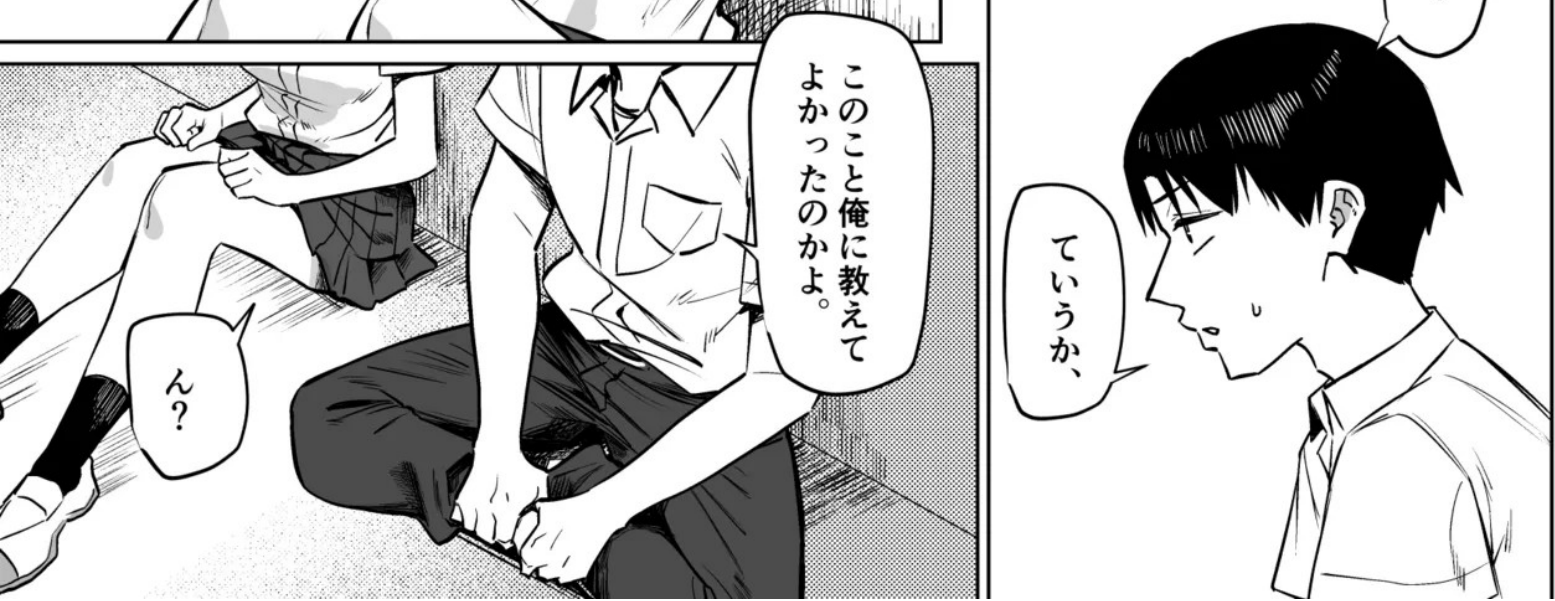
はっ

ドッ

ドッ











それに、



そんなところかな。



あんなものが無くても



私に夢中だろ？

ふふっ。



風人はもう



…っ!!

…いつもどこからくるんだ。
その自信は。

ふふ、
否定はしないんだね。

あ、それとも、

抑止力の無くなったキミに

私は、
襲われてしまうのだろうか？

えい？！

あ、いや…

別に…!!

さて、
帰ろうか風人。

ふふっ

…なんか疲れたわ。

なんてね。

おまけ

まあ、

少しくらいなら
やぶさかでもなくもない
けどもね。

なくもなくも…。

な、なんて…!?

